

**第73回日本実験動物学会総会
プログラム**

総合プログラム

(公社) 日本実験動物学会通常総会 (学会賞授賞式および受賞講演)

5月28日(木) 13:30-15:30

第1会場：劇場棟 1F 劇場

理事長：小倉 淳郎 (理化学研究所BRC)

■安東・田嶋賞

L-1 神経疾患モデルの深化とそれを支える飼育環境の最適化に関する研究

○高橋 英機

九州大学大学院医学研究院実験動物学分野

■奨励賞

L-2 *Hspa8*遺伝子変異ラットの新規神経軸索ジストロフィーモデルとしての確立

○田中 美有

大阪公立大学獣医学研究科獣医病理学

L-3 生体内タンパク質間相互作用解析を可能とするマウスモデルの開発と技術基盤の確立

○村田 知弥

岐阜大学高等研究院One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター (COMIT)

■2025年 Experimental Animals 最優秀論文賞

Identification of gene mutations associated with the phenotype of short-limb mice emerging from a foundation colony of severely immunodeficient mice

重度免疫不全マウスのコロニーから出現した短肢マウスの原因遺伝子の同定

○金子 結、富山 香代、保田 昌彦、小牧 裕司、小倉 智幸、高橋 利一、山本 真史

Trophectoderm-specific gene manipulation using adeno-associated viral vectors

アデノ随伴ウイルスベクターを用いた栄養外胚葉特異的遺伝子導入

○中川 達哉、江森 千紘、伊川 正人

Loss of non-canonical translation initiation factors impairs perinatal cardiac function in mice

非古典的翻訳開始因子の欠損によりマウスの周産期における心臓機能が減弱する

○浅井 健宏、柄内 亮太、水流 功春、関口 茉莉恵、南 篤、藤井 渉、久和 茂、小川 哲弘、角田 茂

特別講演 1

5月27日(水) 11:40-12:40
第1会場：劇場棟 1F 劇場

座長：鈴木 真(沖縄科学技術大学院大学)

PL-1 行動学習の理論と大規模脳データの融合

○銅谷 賢治

沖縄科学技術大学院大学

特別講演 2

5月28日(木) 11:10-12:10
第1会場：劇場棟 1F 劇場

座長：宮田 桂司(獣医系大学間獣医学教育支援機構)

PL-2 Using physiology and behavior to assess animal welfare

○Debra Hickman

AAALAC International

特別講演 3

5月29日(金) 11:40-12:40
第1会場：劇場棟 1F 劇場

座長：堀井 郁夫(東京理科大学)

PL-3 オンチップ血管網を基盤としたMPSの開発と社会実装

○横川 隆司

京都大学

シンポジウム 1 動物福祉・倫理委員会企画

5月27日(水) 9:00-11:30
第1会場：劇場棟 1F 劇場

「臨床麻酔のアプローチを実験動物麻酔に活かす：麻酔科学を知ることからの出発」

座長：佐々木 一益(秋田県立循環器・脳脊髄センター麻酔学研究部)
橋本 道子(株式会社ケー・エー・シー)

S1-1 静脈麻酔薬の薬物動態・薬力学：ヒトにおける臨床麻酔で注意していること

○小原 伸樹

福島県立医科大学医学部麻酔科学講座

S1-2 Harmonizing clinical and laboratory anesthesia: towards consistent standards of care

○Yuan-Ji Day

Anesthesiology and Pain Service, Tung's Taichung MetroHarbor Hospital

S1-3 臨床麻酔と実験動物麻酔をつなぐ：獣医師のアプローチ

○佐々木 一益

秋田県立循環器・脳脊髄センター麻酔学研究部

「実験動物学×幹細胞学：基礎から応用まで」

座長：香月 康宏(鳥取大学)
小林 俊寛(生理学研究所)

S2-1 肝細胞の可塑性を利用した細胞運命転換法の確立

○三浦 静、堀澤 健一、鈴木 淳史
九州大学生体防御医学研究所

S2-2 骨格筋の可塑性と頑強性の理解と制御

○小野 悠介^{1,2)}
¹⁾熊本大学発生医学研究所筋発生再生分野、²⁾東京都健康長寿医療センター研究所筋老化制御研究

S2-3 オプトジェネティクスを用いた神経幹細胞における新規転写制御機構の解明

○今吉 格^{1,2)}
¹⁾京都大学大学院生命科学研究所、²⁾京都大学医生物学研究所

S2-4 No animal experiments, no hematopoietic stem cells

○山崎 聡
東京大学医科学研究所

S2-5 *In vitro* gametogenesis：配偶子産生システムの再構築

○林 克彦
大阪大学大学院医学系研究科生殖遺伝学

「動物実験施設の衛生管理：消毒薬活用とガス滅菌の包括的アプローチ」

座長：三好 一郎(東北大学)
高橋 英機(九州大学)

S3-1 国内動物実験施設の感染状況について

○林元 展人
(公財)実中研ICLASモニタリングセンター

S3-2 研究機関の動物実験施設における次亜塩素酸水の使用例

○神谷 絵美、廣江 猛、高橋 伸明、山中 緑、稲橋 宏樹、窪田 美津子、西島 和俊
自然科学研究機構動物資源共同利用研究センター

S3-3 パンデミック時代の感染制御に備える：要時生成型 MA-T 技術の可能性

○井上 豪
大阪大学

S3-4 二酸化塩素ガスの特徴と飼育施設における複合的な除染について

○渡邊 真

株式会社イカリストリファーム

S3-5 気相式核酸分解技術による革新的高水準除染システム

○小木曾 昇

愛知淑徳大学

シンポジウム 4 大会企画 2

5月28日(木) 9:00-11:00

第1会場：劇場棟 1F 劇場

「AAALAC International 認証施設に学ぶ動物福祉」

座長：Dewi Rowland (香港大学)

内橋 真悠 (日本メドトロニック)

S4-1 Embedding AAALAC Position Statements to build a culture of care at The University of Hong Kong

○Dewi K. Rowlands

Centre for Comparative Medicine Research, Li Ka Shing Faculty of Medicine,
The University of Hong Kong

S4-2 獣医学的ケアを介した動物福祉の向上：AAALAC Position Statementからのヒントを基に

○内橋 真悠

日本メドトロニック株式会社

シンポジウム 5 実験動物感染症対策委員会企画

5月28日(木) 15:40-18:10

第1会場：劇場棟 1F 劇場

「無脊椎動物、魚類、両生類、爬虫類の感染症」

座長：池 郁生 (理化学研究所BRC)

中村 紳一郎 (麻布大学)

国内法令、文書で、「実験動物」は実験等に供され、施設で飼養保管される哺乳類、鳥類、爬虫類と定義されています。その中で、実際に飼養されるのは、圧倒的に哺乳類が多数であり、私たちの微生物学的管理の守備範囲も、哺乳類の微生物が対象です。しかし昨今はReplacementの側面もあり、両生類、魚類、無脊椎動物など多様な動物種が用いられるようになってきています。一方で、これら動物種では適切な微生物学的統御が行われずに実験に供されることも少なくないと思われます。今後、実験動物の微生物管理の従事者は、様々な生物種を対象とした感染症の知識が必要とされることが予想されます。

そこで今回のシンポジウムでは、特定の微生物に絞ったテーマではなく、哺乳類ならびに鳥類以外の動物種を宿主とする、微生物学の基礎を総論的に学ぶことを企画しました。それぞれの生物集団に感染する微生物とそれらによる疾患、宿主の防御反応、防御対策 (予防法、消毒、資材等) などについて、各専門家の先生に総論的に取り上げていただきます。普段目にしない動物種の感染症と病態について、哺乳類とは異なる視点でご聴講いただけると幸いです。

S5-1 昆虫の感染症～カイコのウイルスを中心に

○岩永 将司

宇都宮大学農学部生物生産イノベーション科学科

S5-2 海面養殖魚類における感染症～現状と課題～

○北村 真一

三重大学大学院生物資源学研究所

S5-3 飼育下両生・爬虫類の感染症

○宇根 有美

一般社団法人どうぶつ疾病研究支援協会

シンポジウム 6 日本実験動物技術者協会共催

5月28日(木) 15:40-18:10
第3会場：会議棟B 2F 会議場B1

「動物福祉を探究する新たな視点 第3弾！ ～実験動物技術に関わる多様な分野からアニマルウェルフェアへの寄与を考える～」

座長：平山 晴子(岡山大学)
大羽 沙弥佳(日本クレア)

実験動物技術は2000年以降大きく発展し、動物の状況を科学的に理解し、その状況をより良くするためのいろいろな科学的な技術や手法が開発されてきている。動物実験を行う上で実験動物の身体的および精神的状況が良好であるということは、実験の精度や結果の再現性を左右する重要な側面であることは言うまでもないが、「動物の生活と死の状況に関連した動物の身体的および精神的状況」を客観的に評価することは、国際獣疫事務局(WHOA)の定義でいうところのアニマルウェルフェアに他ならない。アニマルウェルフェアを確保する上の指標として、“5つの自由(5 Freedoms)”が国際的にも提示されているが、2012年には動物愛護管理法にも追記されて10年以上が経った。

では、動物実験を行う現場や実験動物を管理する現場において、人が動物の立場に立ち、科学的に動物の状況を理解して動物の状況をより良くするためにどのような配慮がなされるようになってきたのだろうか？

本シンポジウムでは、アニマルウェルフェアを確保するために行われている、5 Freedomsの指標に対して取り組まれてきた色々な分野からの改善貢献について具体的な事例を紹介いただき、動物実験の現場のみならず、実験動物に関する飼育管理の日常的な業務の中にも Well-being に寄与する取り組みがあることに気づき、その取り組みを科学的に評価することの重要性を学ぶ機会としてほしい。

S6-1 動物福祉へつながる研究支援：OISTでの取り組み紹介

○王 振吉

沖縄科学技術大学院大学

S6-2 現場を支える器材と人の力

—動物実験器材メーカーからみたアニマルウェルフェアへの貢献—

○夏目 知佳子

(株)夏目製作所

S6-3 設備管理及び環境管理を通じた動物福祉への貢献

○渡邊 和紀

ラビックス株式会社

「動物実験と代替法技術の接点—肝臓を例に考える」

座長：北村 浩(東北大学)
西川 昌輝(東京大学)

S7-1 障害肝から放出される微粒子は遠隔臓器の病態進行に関与する

○江口 暁子^{1,2)}¹⁾三重大学大学院医学系研究科消化器内科学、²⁾三重大学医学部附属病院バイオバンクセンター

S7-2 生理的なエネルギー代謝に着目した肝臓モデルの構築と応用

○西川 昌輝¹⁾、菊川 拓暉¹⁾、山崎 允丈¹⁾、下平 岳¹⁾、時任 文弥¹⁾、勝田 毅¹⁾、井上 貴雄²⁾、菅原 徹³⁾、江刺家 勝弘⁴⁾、楊 晶晶⁴⁾、山崎 聡⁴⁾、上原 正太郎⁵⁾、米田 直央⁵⁾、樋口 裕一郎⁵⁾、末水 洋志⁵⁾、進藤 潤一⁶⁾、酒井 康行¹⁾¹⁾東京大学、²⁾山口大学、³⁾京都工芸繊維大学、⁴⁾三井化学、⁵⁾実中研、⁶⁾虎の門病院

S7-3 肝臓ヒト化マウスで得られた成果

○立野 知世^{1,2,3)}¹⁾株式会社フェニックスバイオ、²⁾広島大学大学院医系科学研究科、³⁾和歌山県立医科大学

S7-4 動物実験代替法の開発を目指した化学構造情報および実験データに基づく肝毒性予測研究

○吉成 浩一

静岡県立大学薬学部

「動物行動」

座長：新美 君枝(理化学研究所CBS)
平山 晴子(岡山大学)

S8-1 理研BRCにおけるマウス行動表現型解析基盤の構築と運用

○古瀬 民生、山田 郁子、田村 勝

理研BRCマウス表現型研究開発室

S8-2 レット症候群モデルマーマーモセットの発声行動解析

○仲西 萌絵、岡原 純子、久保 絵理奈、岸 憲幸、岡野 栄之、下郡 智美

理化学研究所脳神経科学研究センター

S8-3 伴侶動物の行動をどう理解し、どう関わるか—行動診療の視点から—

○落合 優実

ぎふ動物行動クリニック

S8-4 家畜化に関連する人に自ら近づく行動のメカニズム解明を目指して

○小出 剛

国立遺伝学研究所マウス開発研究室

「魚類・両生類の研究利用と動物福祉」

座長：三浦 竜一(東京大学)
磯谷 綾子(奈良先端科学技術大学院大学)
成瀬 智恵(三重大学)

平成18年に定められた「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」において、実験動物の定義は、『動物実験等のため、研究機関等における施設で飼養し、又は保管している哺乳類、鳥類及び爬虫類に属する動物をいう。』とされており、脊椎動物でも両生類、魚類は、この指針の対象外とされてきた。一方で、昨今の研究技術の進歩により、両生類や魚類を対象とした研究も盛んになってきており、独自で実験計画を見直して3R (Replacement, Reduction, Refinement) の理念を両生類、魚類に取り入れている機関もある。世論の動物愛護、動物福祉に関する関心からも、これからの動物実験の実施は、両生類、魚類も含めた実験計画が必要となっていくことが予想される。

本セミナーでは、両生類、魚類を用いて研究が行われている4名の講師に、両生類、魚類の研究への利活用及び、動物実験に準じた実施方法について、講演いただく。

今後の両生類、魚類の研究への利活用及び、実験計画やその審査の参考にしていただきたい。

LAS1-1 両生類の麻酔・安楽死法と動物福祉—イベリアトゲイモリの事例から—

○大林 徹也
鳥取大学

LAS1-2 ゼブラフィッシュの飼育・研究手法と動物福祉

○松井貴輝
奈良先端科学技術大学院大学

LAS1-3 大学における魚類・両生類を用いた教育・研究と動物福祉

○市瀬広武
獨協医科大学

LAS1-4 沖縄美ら海水族館における科学的調査と動物福祉

○佐藤 圭一
沖縄美ら海水族館

「先端遺伝子操作技術の生命科学研究への応用」

座長：小沢 学(東京大学医科学研究所)
清成 寛(理化学研究所 BDR)

近年、ゲノム編集技術を筆頭に、生命科学研究における遺伝子操作は大きな変革期を迎えています。本セミナーでは、先端的な遺伝子操作技術を生命科学研究へ応用するための最新動向について、第一線で活躍する研究者を講師としてお招きし、体系的に解説します。

主な内容として、プライムエディティングをはじめとした最新のゲノム編集技術の動向、培養細胞を用いたCRISPRライブラリーによる機能スクリーニング、多様な動物種におけるゲノム編集技術の展開、さらにゲノム編集に依らない新世代の*in vivo*時空間的遺伝子発現制御技術まで、細胞系から個体レベルに至る幅広い話題を網羅します。

本セミナーは、これから遺伝子操作技術を導入しようとする研究者・技術者にとっての基礎的理解の深化のみならず、すでに関連技術を活用している研究者にとっても、今後の研究戦略を考える上で有益な知見を提供することを目的としています。

LAS2-1 多様化するゲノム編集技術の進化と深化

○佐久間 哲史

京都大学

LAS2-2 CRISPRスクリーニングの開発と応用

○遊佐 宏介

京都大学

LAS2-3 多様化する動物モデルにおけるゲノム編集技術の展開

○阿部 高也

理研BDR

LAS2-4 マウス個体における Tet-ON/OFF システムを用いた時空間遺伝子発現制御の最適化

○田口 純平

東京大学

「動物福祉を学び直す」

座長：井上 貴史(岡山理科大学)
 塚本 晃海(実中研)
 佐々木 えりか(実中研)

動物福祉は、実験動物の適正な取り扱いや、科学的妥当性・信頼性の高いデータを得るために不可欠な概念です。しかし、その概念は極めて広範であり、「具体的にどう向き合うべきか」という問いに明確な答えを出すのは容易ではありません。本セミナーでは、あえて実験動物の枠を超え、「愛玩動物」「動物園動物」「産業動物」の3つの視点から動物福祉の現状と国内外の動向を紐解きます。それぞれの分野が直面している固有の課題を共有することで、動物福祉という概念をより立体的に捉え直す機会を提供します。さらに本セミナーの最後には、動物の「苦痛」に関する倫理的側面について考察します。最前線の研究者・技術者はもちろん、施設運営に携わる方々にとっても、日常業務とは異なる角度から動物福祉を見つめ直す、有益な機会を提供することを目的としています。

LAS3-1 愛玩動物の福祉の現状と課題

○加隈 良枝
 帝京科学大学

LAS3-2 動物園動物の福祉と課題

○野田 英樹
 帝京科学大学

LAS3-3 産業動物の福祉と国内外の動向

○新村 毅
 東京農工大学

LAS3-4 動物倫理における動物の苦痛と死

○久保田 さゆり
 長崎大学

優秀発表賞(口頭発表・示説)

口頭 : 5月27日(水) 9:00-11:30
 示説・討論 : 5月27日(水) 17:50-18:50

第3会場：会議棟B 2F 会議場B1
 ポスター・展示会場：展示棟 1F 展示場

座長：三浦 浩美(東海大学)
 中尾 聡宏(熊本大学)

BP-01 新規ウェアラブルデバイスを用いたラットの行動・生理指標統合解析システムの構築

○松田 直晃¹⁾、小石川 蒼²⁾、高野 珠実²⁾、関澤 信一¹⁾、大久保 佑亮³⁾、太田 裕貴²⁾、栃内 亮太^{1,4)}

¹⁾東京大学獣医衛生学研究室、²⁾横浜国立大学理工学府工学研究院、

³⁾国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター、⁴⁾東京大学食の安全研究センター

BP-02 hGH-KI マウスおよびhFGF19-KI マウスを用いた新規肝臓ヒト化マウスの作出

○森岡 晶¹⁾、石田 雄二^{1,2)}、浜村 理子¹⁾、柳 愛美¹⁾、真下 知士³⁾、立野 知世^{1,2,4)}

¹⁾株式会社フェニックスバイオ、²⁾広島大学大学院医系科学研究科、³⁾東京大学医科学研究所、⁴⁾和歌山県立医科大学

BP-03 犬糞便菌叢の移植が無菌マウスの不安行動へ及ぼす影響の評価と不安原因菌種の探索

○天野 敬太¹⁾、中野 亜由美¹⁾、須田 互²⁾、増岡 弘晃²⁾、新藤 智絵²⁾、田野倉 真紀²⁾、久芳 克次³⁾、立川 宏司³⁾、平山 和宏¹⁾

¹⁾東京大学大学院農学生命科学研究科、²⁾理化学研究所生命医科学研究センター、³⁾北山ラベス株式会社本郷ファーム

BP-04 雌マウスにおける性経験依存的なパートナー選好性の形成とバソプレシン1b受容体の役割

○林 姫花^{1,2)}、坂本 浩隆²⁾、北村 浩¹⁾、近藤 保彦³⁾

¹⁾東北大学、²⁾岡山大学、³⁾帝京科学大学

BP-05 塩基編集技術を基盤とした新規多重遺伝子ノックアウトマウス作製法の確立

○鈴木 颯¹⁾、西村 瑞稀²⁾、増田 百香²⁾、三上 夏輝³⁾、久野 朗広¹⁾、水野 聖哉¹⁾

¹⁾筑波大学医学医療系生命科学動物資源センター、²⁾筑波大学・院フロンティア医科学学位プログラム、³⁾筑波大学・院ヒューマンバイオロジー学位プログラム

BP-06 Intraplacentar transplantation reveals ductal progenitors rescue *Pdx1*-deficient mice

○Zeynab Javanfekr Shahri¹⁾、Atsushi Noda¹⁾、Chingwei Liao¹⁾、Eugenia Elikem Abena Kumaga¹⁾、Arata Wakimoto²⁾、Michito Hamada³⁾、Satoru Takahashi¹⁾

¹⁾Laboratory of Animal Resource Center, University of Tsukuba,

²⁾Department of Obstetrics and Gynecology, School of Medicine, University of Washington,

³⁾Center for Medical Sciences, Ibaraki Prefectural University of Health Sciences

BP-07 ゲノム編集を用いたマイクロインジェクションによるノックインハムスターの作製

○繁田 麻葉¹⁾、井上 健一¹⁾、島田 奈浦子¹⁾、戸部 有紗^{1,2)}、阿部 高也¹⁾、清成 寛¹⁾

¹⁾国立研究開発法人理化学研究所、²⁾京都大学野生動物研究センター

BP-08 ゲノム編集マウスを用いたGAGリンカー領域合成酵素：B3GALT6の機能解析

○山下 莉奈¹⁾、水本 秀二²⁾、芝 陽子³⁾、中野 堅太⁴⁾、山田 修平²⁾、岡村 匡史⁴⁾、古市 達哉¹⁾

¹⁾岩手大獣医学部実験動物学研究室、²⁾名城大薬学部病態生化学研究室、

³⁾岩手大理工学部細胞内輸送研究室、⁴⁾国立国際医療研究所実験動物管理部

BP-09 高解像度腸内細菌叢解析が明らかにしたマウス腸内細菌のゲノムレベル同期ダイナミクス

○黒川 李奈¹⁾、増川 理恵²⁾、荒川 武蔵²⁾、増岡 弘晃¹⁾、吉川 優²⁾、Tanzila Raihan²⁾、高安 秀樹^{1,2)}、高安 伶奈^{1,3)}、高安 美佐子²⁾、須田 互¹⁾

¹⁾理化学研究所、²⁾東京科学大学、³⁾Meinig School of Biomedical Engineering, Cornell University

BP-10 DCIR 欠損時のTLR7-MYD88 シグナル増強が中枢神経系自己免疫疾患の自然発症を引き起こす

○藤岡 篤司¹⁾、岩倉 洋一郎²⁾、中村 晃³⁾、村木 靖⁴⁾、海部 知則⁴⁾

¹⁾洛和会音羽病院、²⁾東京大学大学院・農学生命科学研究科・実験動物学研究室、³⁾豊頃町立豊頃医院、

⁴⁾岩手医科大学・微生物学講座・感染症・免疫学

BP-11 *Mocos*遺伝子のナンセンス変異ラットはキサンチン尿症、閉塞性腎症、貧血を示す

○浦崎 真央¹⁾、長坂 夏奈¹⁾、城戸 美紀¹⁾、林 健太¹⁾、渡邊 歩美¹⁾、関口 隆寛²⁾、桑村 充²⁾、
田中 美有²⁾、真下 知二³⁾、服部 晃佑³⁾、庫本 高志¹⁾

¹⁾東京農業大学動物栄養学研究室、²⁾大阪公立大学獣医学部獣医病理学、

³⁾東京大学医科学研究所動物遺伝学分野

BP-12 染色体工学技術による炎症性腸疾患治療に向けた複合バイオロジクスの開発

○飛知和 弦輝^{1,2)}、Yayan Wang^{2,3)}、萩原 諒平²⁾、香月 加奈子²⁾、本多 英嗣⁴⁾、阿部 智志²⁾、
押村 光雄⁵⁾、富塚 一磨⁴⁾、伊東 祐二⁶⁾、香月 康宏^{1,2,7)}

¹⁾鳥取大学医学部生命科学科、²⁾鳥取大学染色体工学研究センター、

³⁾鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻、⁴⁾東京薬科大学生命科学研究部応用生命科学科、

⁵⁾株式会社Trans Chromosomics、⁶⁾鹿児島大学大学院理工学研究科理学専攻化学プログラム、

⁷⁾自然科学研究機構生命創成探究センター

一般口頭発表

一般口頭発表 I

5月27日(水) 15:10-17:40

第3会場：会議棟B 2F 会議場B1

「遺伝・育種・遺伝子機能 1」

座長：小出 剛(国立遺伝学研究所)

O-01 TMEM191はLINC複合体を核膜に繋ぎ止めることで精子頭部の形態変化に寄与する

○嶋田 圭祐^{1,2)}、Yumiao Qiu²⁾、Heesun Sim²⁾、鴨下 真紀^{2,3)}、中川 達哉^{2,4)}、伊川 正人²⁾

¹⁾酪農学園大学獣医学部、²⁾大阪大学微生物病研究所、³⁾麻布大学獣医学部、

⁴⁾奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科

O-02 遺伝子欠損マウスを用いた糖ヌクレオチド輸送体SLC35D2の機能解析

中山 雅継¹⁾、上田 竣介¹⁾、山下 莉奈¹⁾、平岡 秀一²⁾、古関 明彦²⁾、○古市 達哉¹⁾

¹⁾岩手大学獣医学部実験動物学研究室、²⁾理研生命医科学研究センター

「遺伝・育種・遺伝子機能 2」

座長：山本 真史(実中研)

O-03 NOD/Shi マウスにおける重度難聴のcrystallin mu欠損の相加的効果

○吉川 欣亮¹⁾、Ornjira Prakhongcheep¹⁾、侯 雪含¹⁾、田原 佳代子¹⁾、関 優太¹⁾、米川 博通¹⁾、
福田 雅俊²⁾、日比野 浩³⁾、三浦 郁生⁴⁾、田村 勝⁴⁾、設楽 浩志⁵⁾、安田 俊平¹⁾

¹⁾東京都医学総合研究所先端基礎医学研究分野、²⁾市立東大阪医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科、

³⁾大阪大学大学院医学系研究科統合薬理学、

⁴⁾理化学研究所バイオリソース研究センターマウス表現型研究開発室、

⁵⁾東京都医学総合研究所基盤技術支援センター

O-04 肥満糖尿病モデルZFDMラットが有するリポカリン2遺伝子変異の病態発症における役割

○横井 伯英¹⁾、高木 美智¹⁾、森谷 すずか¹⁾、宇野 絹子²⁾、笹瀬 智彦²⁾、星野 貴一³⁾、太田 毅²⁾

¹⁾京都大学大学院農学研究科動物遺伝育種学分野、²⁾京都大学大学院農学研究科生体機構学分野、

³⁾(株)星野試験動物飼育所

O-05 カプシドエンジニアリングによる遺伝性難聴へのAAV遺伝子治療とゲノム編集治療の開発

○神谷 和作

順天堂大学医学部

「栄養・生理・生化学」

座長：成瀬 智恵 (三重大学)

O-06 ガングリオシドGD3は炎症応答の抑制を介して、間質性肺炎の病態を制御する

○辰巳 響¹⁾、永根 大幹¹⁾、山内 章寛¹⁾、加藤 千博¹⁾、丹羽 智瑛¹⁾、小室 茉莉子¹⁾、高木 哲¹⁾、
岡本 まり子¹⁾、納谷 裕子²⁾、萩原 喜久美²⁾、清水 琢音¹⁾、相原 尚之¹⁾、志賀 崇徳¹⁾、
上家 潤一¹⁾、山下 匡¹⁾

¹⁾麻布大学獣医学部、²⁾麻布大学生命・環境科学部

O-07 マウス腎不全モデルに対するヒト乳歯歯髄幹細胞培養上清液の抗炎症作用と抗酸化作用

○高橋 光¹⁾、永根 大幹^{1,2)}、福山 朋季¹⁾、志賀 崇徳¹⁾、相原 尚之¹⁾、上家 潤一¹⁾、山下 匡¹⁾

¹⁾麻布大学獣医学部、²⁾麻布大学ヒトと動物の共生科学センター

「バイオリソース 1」

座長：竹尾 透 (熊本大学)

O-08 マウスゲノム多型データベース MoG+ の高度化と疾患研究への利活用

○高田 豊行¹⁾、山縣 真允¹⁾、三橋 信孝²⁾、守屋 勇樹²⁾、千葉 啓和²⁾、粕川 雄也³⁾、梶屋 啓志¹⁾

¹⁾理化学研究所バイオリソース研究センター統合情報開発室、

²⁾情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データベースセンター、

³⁾理化学研究所生命医科学研究センター生命医科学大容量データ技術研究チーム

O-09 LLMを活用した疾患関連マウスの探索および機能注釈のためのパイプラインの構築

○榎田 達矢、白田 大輝、高田 豊行、梶屋 啓志

理化学研究所バイオリソース研究センター統合情報開発室

O-10 フィブリルイメージングモデルマウスの応用とコラーゲンネットワーク解析

○三輪 佳宏^{1,2)}、木嶋 順子¹⁾、番 奏絵^{1,3)}、笹沼 俊一¹⁾、野崎 晋五¹⁾、飯田 哲史¹⁾

¹⁾理化学研究所BRC、²⁾筑波大学ライフイノベーション学位プログラム、

³⁾筑波大学人間総合科学研究科

「バイオリソース 2」

座長：三浦 浩美 (東海大学)

O-11 AutoPlast評価を可能にする新生仔期免疫寛容誘導型移植モデルの構築

○宮内 浩^{1,2)}

¹⁾地域医療振興協会練馬光が丘病院、²⁾神経再生研究所

O-12 ゲノム編集動物が持つアレルを網羅的に同定する遺伝型解析ツール「DAJIN2」の開発

○久野 朗広^{1,2)}

¹⁾筑波大学医学医療系・高等研究院、²⁾筑波大学生命科学動物資源センター

「薬理・安全性」

座長：塚本 晃海(実中研)

O-13 卵巣摘出マウスを用いた子宮肥大試験による内分泌かく乱化学物質のスクリーニング評価(Ⅱ)

○五十嵐 智女¹⁾、横田 理¹⁾、相田 麻子¹⁾、西村 拓也¹⁾、山田 隆志¹⁾、北嶋 聡²⁾

¹⁾国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター・毒性部、

²⁾国立医薬品食品衛生研究所・安全性生物試験研究センター・安全性予測評価部

O-14 急性毒性試験用多元計測システム(ToxQb)の開発

○高橋 祐次、森田 紘一、菅 康佑、辻 昌貴、相崎 健一、山田 隆志

国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部

一般口頭発表Ⅱ

5月28日(木) 9:00-11:00

第3会場：会議棟B 2F 会議場B1

「管理・施設・倫理・福祉1」

座長：大沼 健太(ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン)

O-15 ハプティクスシステム導入による投与感覚のあるマウス腹腔内投与訓練用VRアプリ開発の試み

○橋本 晴夫、高倉 彰

公益財団法人実中研

O-16 Rehomingネットワークの更なる進化を目指して：オンライン説明会の改善と感謝の輪づくり

○安倍 宏明、石川 玄

マーシャル・バイオリソース・ジャパン株式会社

O-17 Rehomingの持続可能性を目指して：ネットワークの確立とリアルイベントの改善

○石川 玄、安倍 宏明

マーシャル・バイオリソース・ジャパン株式会社

O-18 実験用ブタにおける非侵襲的ストレス評価法の開発

○坂本 瑞希、野口 光央、國田 智、本多 新

自治医科大学先端医療技術開発センター

「管理・施設・倫理・福祉2」

座長：小木曾 昇(愛知淑徳大学)

O-19 低濃度亜塩素酸溶液MA-Tを用いた動物実験施設の臭気管理

○野田 義博

東京科学大学

O-20 過酸化水素ガスによるバイオハザード対策用クラスⅡキャビネットの殺菌

○桑原 浩輔¹⁾、今井 都泰²⁾、岡崎 貢³⁾、佐藤 賢哉⁴⁾、何 裕遙⁴⁾

¹⁾十全バイオシステムズ、²⁾株式会社ジック、³⁾株式会社グロービック、⁴⁾公益財団法人実中研

「実験手技・代替・麻酔・鎮痛」

座長：中山 駿矢(日本大学)

O-21 心拍変動解析を用いたマウス侵害刺激評価の試み

○伊藤 拓哉¹⁾、佐々木 一益²⁾

¹⁾国立大学法人千葉大学学術研究・イノベーション推進機構、

²⁾秋田県立循環器・脳脊髄センター麻酔学研究室

O-22 雌性カニクイザルにおける「2カテーテル法」を用いた、確実な尿道カテーテル法技術の確立

○小杉 多恵、松下 真弓、藤井 倫太郎、天野 桃子、後藤 有紀、筒井 魁人、種田 久美子、
Aldric Hama、外村 和也

シミックファーマサイエンス株式会社

O-23 雌性カニクイザルにおける逆行性腎盂アプローチ法による局所投与の確立

○天野 桃子、小杉 多恵、松下 真弓、藤井 倫太郎、後藤 友紀、筒井 魁人、種田 久美子、
Aldric Hama、外村 和也

シミックファーマサイエンス株式会社

一般口頭発表Ⅲ

5月28日(木) 15:40-18:10

第4会場：会議棟B 1F 会議場B2

「発生工学1」

座長：清成 寛(理化学研究所BDR)

O-24 DNAバーコードを用いたモザイク性評価系の開発

○松本 翔馬^{1,2)}、岡村 永一^{2,3)}、鈴木 颯⁴⁾、森 秀人¹⁾、増山 七海⁵⁾、木島 佑輔⁵⁾、谷内江 望^{1,5,6)}、
水野 聖哉⁴⁾、依馬 正次^{2,7)}

¹⁾大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点(WPI-PRIME)、

²⁾滋賀医科大学動物生命科学研究センター、³⁾滋賀医科大学産科婦人科学講座、

⁴⁾筑波大学トランスボーダー医学研究センター、⁵⁾プリティッシュュコロンビア大学生体医工学部、

⁶⁾東京大学先端科学技術研究センター、⁷⁾京都大学ヒト生物学高等研究拠点(WPI-ASHBi)

O-25 精子特異的エピゲノム編集マウスにより世代間エピゲノム遺伝を明らかにする

○堀居 拓郎¹⁾、森田 純代¹⁾、日野 信次朗²⁾、日野 裕子²⁾、福嶋 悠人³⁾、小林 良祐¹⁾、木村 美香¹⁾、
中尾 光善²⁾、水上 洋一⁴⁾、井上 梓³⁾、畑田 出穂¹⁾

¹⁾群馬大学生体調節研究所生体情報ゲノムリソースセンター、

²⁾熊本大学発生医学研究所細胞医学分野、

³⁾理化学研究所生命科学研究センター疾患エピゲノム遺伝研究チーム、

⁴⁾山口大学大学研究推進機構遺伝子実験施設

O-26 体内受精，体外受精，単為発生処理により作出した拡張胚盤胞における遺伝子発現の探索的比較

○神田 光輝¹⁾、杷野 一輝²⁾、内倉 健造³⁾、田島 茂行⁴⁾、北川 均²⁾、高須 正規²⁾

¹⁾岐阜大学大学院共同獣医学研究科共同獣医学専攻、²⁾岐阜大学高等研究院生体医工学研究室、

³⁾愛知県農業総合試験場畜産研究部養豚研究室、⁴⁾愛知県畜産総合センター種畜部養豚課

「発生工学 2」

座長：磯谷 綾子(奈良先端科学技術大学院大学)

O-27 膈内プロゲステロン塗布によるマウス性周期の同期化

○進導 美幸¹⁾、佐藤 伴²⁾、山下 泰²⁾、佐藤 正宏³⁾、宮戸 健二⁴⁾、河野 菜摘子²⁾

¹⁾国立成育医療研究センター実験動物管理室、²⁾明治大学農学部生体制御学研究室、

³⁾国立成育医療研究センターゲノム医療研究部、⁴⁾国立成育医療研究センター再生医療センター

O-28 ラットにおける経卵管壁卵管内受精卵移植

○中潟 直己¹⁾、三小田 伸之^{1,2)}、山鹿 優真³⁾、中尾 聡宏³⁾、竹尾 透³⁾

¹⁾熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)生殖工学共同研究分野、²⁾九動株式会社、

³⁾熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野

O-29 ゲノムヒト化を目指した長鎖ノックイン動物作製基盤の高度化

○吉見 一人¹⁾、山内 祐子¹⁾、高井 淳²⁾、齋藤 知子³⁾、戸塚 義和³⁾、真下 知士¹⁾

¹⁾東京大学医科学研究所先進動物ゲノム研究分野、²⁾東北医科薬科大学医学部医化学教室、

³⁾特殊免疫研究所

「繁殖・系統開発」

座長：守田 昂太郎(理化学研究所BRC)

O-30 動物福祉の向上に資するラット二細胞期胚の冷蔵輸送法の開発

○増田 啓介¹⁾、山鹿 優真¹⁾、中尾 聡宏¹⁾、三小田 伸之^{2,3)}、安齋 政幸⁴⁾、中潟 直己²⁾、竹尾 透¹⁾

¹⁾熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、

²⁾熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)生殖工学共同研究分野、³⁾九動株式会社、

⁴⁾近畿大学先端技術総合研究所

O-31 Ca^{2+} によって誘発される不動精子は特定のタンパク質提示によって定義され、受精を受動的に制御する

渡邊 仁美¹⁾、小原 乃也¹⁾、中馬 新一郎¹⁾、竹内 悠介¹⁾、竹中 慎¹⁾、高野 友篤¹⁾、刀谷 在美¹⁾、
中尾 聡宏²⁾、三池 浩一郎²⁾、兼子 明久³⁾、種田 貴徳⁴⁾、勝野 達也⁵⁾、植畑 拓也⁵⁾、竹尾 透²⁾、
岡本 宗裕³⁾、廣田 圭司¹⁾、○近藤 玄¹⁾

¹⁾京都大学医生物学研究所、²⁾熊本大学生命資源研究・支援センター、

³⁾京都大学ヒト行動進化研究センター、⁴⁾バイオレジェンドジャパン、⁵⁾京都大学大学院医学研究科

O-32 ハダカデバネズミのペアリング時に発現する性的行動はその後の繁殖成功と強く関連する

○奥村 果林^{1,2)}、山川 真徳^{1,2)}、沓掛 展之³⁾、岡 香織^{1,2)}、河村 佳見^{1,2)}、三浦 恭子^{1,2)}

¹⁾九州大学大学院医学研究院長寿幹細胞医学分野、

²⁾熊本大学大学院生命科学研究部老化健康長寿学講座、³⁾総合研究大学院大学統合進化科学研究センター

O-33 最長寿齧歯類ハダカデバネズミにおける精子凍結保存の試み

○鈴木 悠介^{1,2)}、奥村 果林^{1,2)}、中尾 聡宏³⁾、岡 香織^{1,2)}、竹尾 透³⁾、河村 佳見^{1,2)}、三浦 恭子^{1,2)}

¹⁾九州大学大学院医学研究院応用幹細胞医学部門長寿幹細胞医学分野、

²⁾熊本大学大学院生命科学研究部老化・健康長寿学講座、

³⁾熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野

「加齢・老化」

座長：磯野 協一（和歌山県立医科大学）

O-34 生体内細胞リプログラミングによる老化形質減弱作用の分子基盤

○田口 純平¹⁾、野村 征太郎²⁾、山田 臣太郎²⁾、加藤 愛巳²⁾、小沢 学¹⁾、小室 一成²⁾、山本 拓也³⁾、
山田 泰広⁴⁾

¹⁾東京大学医科学研究所、²⁾東京大学大学院医学系研究科先端循環器医科学講座、
³⁾京都大学iPS細胞研究所、⁴⁾東京大学大学院医学系研究科分子病理学分野

O-35 ヒト臨床効果を起点とした卵殻膜機能解析：ゼリー経口投与マウスモデルによる抗線維化と腸内環境改善の検討

○清水 美穂¹⁾、藤田 恵理²⁾、跡見 綾³⁾、堀ノ内 慎哉³⁾、野川 憲夫⁴⁾、渡邊 敏行³⁾、長谷部 由紀夫⁵⁾、
跡見 順子¹⁾

¹⁾帝京大学先端総合研究機構、²⁾帝京大・医療技術、³⁾農工大・応用化学、⁴⁾東京大学ISC、
⁵⁾株式会社アルマード

O-36 CTによるコモンマーモセット腰椎の骨量・骨質解析と標準評価椎体および代表指標の検討

○小泉 誠¹⁾、太田 裕貴¹⁾、吉岡 美郷¹⁾、戴 可嘉¹⁾、笠 兼太郎^{1,3)}、小松 鉄平²⁾、
岡野 ジェイムス洋尚¹⁾

¹⁾東京慈恵会医科大学再生医学研究部、²⁾東京慈恵会医科大学内科学講座脳神経内科、
³⁾東京慈恵会医科大学外科学講座血管外科

一般口頭発表Ⅳ

5月29日(金) 9:00-11:30

第3会場：会議棟B 2F 会議場B1

「微生物・感染・免疫」

座長：保田 昌彦(実中研)

O-37 生存マウスからの反復鼻腔洗浄液採取法：インフルエンザウイルス感染試験での応用

○光永 総子^{1,2)}、松浦 正樹¹⁾、井戸田 真紀子¹⁾、中村 伸^{1,2)}

¹⁾株式会社アイテックラボ、²⁾NPO法人プライメイト・アゴラバイオメディカル研究所

O-38 ヒト腸内細菌叢を定着させた免疫系ヒト化マウスを用いた免疫チェックポイント評価系の確立

○何 裕遙、片野 いくみ、野津 量子、富山 香代、岡田 開、伊藤 亮治、高橋 利一、林元 展人
実中研

O-39 ゴールデンハムスター：菌叢モデルとしての可能性

○池 郁生¹⁾、岡村 俊宏²⁾、廣瀬 美智子¹⁾、富島 俊子¹⁾、井上 貴美子¹⁾、小倉 淳郎¹⁾

¹⁾理研BRC統合発生工学、²⁾農研機構畜産研究部門

「疾患モデル1」

座長：村山 正承（関西医科大学）

O-40 リゾホスファチジン酸受容体3 (LPA3) は血管内皮細胞の遊走を制御し腫瘍血管新生を抑制する

○兼平 雅彦¹⁾、Yi Luo¹⁾、大河内 真也²⁾、岡田 克典³⁾

¹⁾山梨大学総合分析実験センター資源開発分野、²⁾東北大学大学院医学系研究科産業医学分野、
³⁾東北大学加齢医学研究所呼吸器外科学分野

O-41 ヒト化NOG-EXLマウスを用いたNPハプテン特異的ヒトIgE依存性アナフィラキシーモデルの構築

○李 晋廷¹⁾、中田 和子¹⁾、亀田 周子¹⁾、文随 友花²⁾、畠山 雅彦²⁾、伊藤 亮治¹⁾

¹⁾公益財団法人実中研、²⁾日本クレア株式会社

O-42 ヒト化NOG-W41マウスを用いたヒト腸管免疫系再構築モデルの確立

○伊藤 亮治¹⁾、何 裕遥¹⁾、岡田 開¹⁾、大野 裕介¹⁾、余語 孝夫²⁾、山崎 聡²⁾、後藤 元人¹⁾、高橋 利一¹⁾、伊藤 守¹⁾

¹⁾公益財団法人実中研、²⁾東京大学医科学研究所細胞制御研究分野

「疾患モデル 2」

座長：角田 茂 (東京大学)

O-43 肝臓線維化に伴い増加するFGF23が担う肝臓 - 骨・心臓の臓器連関

○三原 大輝^{1,2)}、水流 巧春³⁾、岡本 雄揮²⁾、野々下 由真²⁾、黒澤 珠希²⁾、山田 隆志¹⁾、堀 正敏²⁾

¹⁾国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター毒性部、

²⁾東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室、³⁾プライムテック株式会社

O-44 マイクロミニピッグを用いた*E. coli*投与による急性腎障害モデルの構築

○杷野 一輝¹⁾、古橋 和拡^{2,3)}、田中 章仁²⁾、松本 惇²⁾、高須 正規¹⁾

¹⁾岐阜大学高等研究院、²⁾名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学、

³⁾名古屋大学高等研究院

「脳・神経・行動」

座長：高雄 啓三 (富山大学)

O-45 マウス行動自動検出法SHIGUSAを用いた病態モデルにおける引掻き行動の評価

宮崎 優介¹⁾、小林 幸司²⁾、坂本 直観^{1,3)}、○村田 幸久^{1,2,3)}

¹⁾東京大学農学部放射線動物科学研究室、²⁾東京大学農学部食と動物のシステム科学研究室、

³⁾東京大学農学部獣医薬理学研究室

O-46 SHIGUSAを用いた代謝機能障害関連脂肪肝炎マウスモデルの行動解析

○坂本 直観¹⁾、沼野 琢旬²⁾、小林 唯³⁾、白井 隆之介²⁾、福田 将大³⁾、大崎 真里亜³⁾、大森 啓介³⁾、山本 大地²⁾、村田 幸久^{1,3,4)}

¹⁾東京大学大学院農学生命科学研究科放射線動物科学研究室、²⁾公益財団法人実中研、

³⁾東京大学大学院農学生命科学研究科食と動物のシステム科学、

⁴⁾東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室

O-47 無菌マウスの自発運動量測定法の実証

○小島 圭介、富山 香代、何 裕遥、野津 量子、植野 昌未、小倉 智幸、高橋 利一、林元 展人

公益財団法人実中研

「解剖・組織・病理・病態」

座長：兼平 雅彦(山梨大学)

O-48 NODマウスの遺伝的背景を有するNOGマウスにおける自然発生性旋回行動の解析

○保田 昌彦¹⁾、小倉 智幸¹⁾、小牧 裕司¹⁾、何 裕遙¹⁾、水澤 卓馬¹⁾、西脇 恵²⁾、高橋 利一¹⁾

¹⁾公益財団法人実中研、²⁾日本クレア株式会社

O-49 肝臓に腫瘍を呈したデグー (*Octodon degus*) の病理組織学的解析

○伊能 正人¹⁾、中村 鉄平¹⁾、吉村 琉那²⁾、鈴木 玲海³⁾、名倉 悟郎²⁾、篠原 昭男²⁾、森松 正美¹⁾

¹⁾北海道大学獣医学部実験動物学教室、²⁾宮崎大学フロンティア科学総合研究センター、

³⁾北海道大学獣医学部比較病理学教室

O-50 From Bone to Body : JFRL染色を用いたコラーゲン組織の質的評価

○中村 鉄平¹⁾、鷺見 嘉奈子²⁾、寸田 祐嗣³⁾、吉良 俊之介⁴⁾、菱川 創太³⁾、中西 康⁵⁾、森松 正美¹⁾

¹⁾北大院・獣医・実験動物、²⁾日本食品分析センター、³⁾鳥取大院・農・獣医病理、⁴⁾北大院・獣医・解剖、

⁵⁾北大院・歯・生体材料

示説・討論 奇数：5月27日(水) 14:00～15:00
偶数：5月27日(水) 17:50～18:50

「管理・施設・倫理・福祉」

P-001 IntelliProfilerを用いたマウスの環境エンリッチメントの評価

土屋 千歩²⁾、林 姫花^{1,2)}、木伏 智美²⁾、越智 翔平³⁾、原 惟織⁴⁾、東 昌志⁴⁾、大隅 典子³⁾、○北村 浩^{1,2)}

¹⁾東北大学大学院医学系研究科医用動物学分野、²⁾東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設、
³⁾東北大学大学院医学系研究科発生発達神経科学分野、⁴⁾東北大学医学部医学科

P-002 製薬企業における獣医学的ケア活動の社内発信とその影響

○山際 慶典

千寿製薬株式会社研究開発本部総合研究所毒性グループ

P-003 飼育環境へのクレート設置が実験犬の行動に及ぼす影響

○三重 慧一郎、平延 あやな、伊藤 百々葉、橋本 咲也香、橋本 直幸、武光 浩史

倉敷芸術科学大学生命科学部動物生命科学科

P-004 理研BDR動物施設における薬剤噴霧によるチャタテムシ駆除

○井上 健一、野村 弥和子、島田 奈浦子、繁田 麻葉、白石 亜紀、清成 寛

国立研究開発法人理化学研究所生体機能科学研究センター生体モデル開発チーム

P-005 日本クレア(株)富士宮技術サービスセンターにおける全自動給水ビン洗浄・充填システムの開発と導入効果

○奥村 浩、西脇 恵

日本クレア株式会社

P-006 マウスの飼育に適した床敷使用方法の検討

○松原 弘和、山下 敦子

千寿製薬株式会社

P-007 熊本大学生命資源研究・支援センターCARD新館におけるLED更新工事に関する情報共有

○坂本 亘^{1,2)}、中尾 聡宏²⁾、竹尾 透²⁾

¹⁾国立大学法人熊本大学研究開発戦略本部技術部門、
²⁾熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野

P-008 動物施設における消毒液噴霧システムの飼育環境への影響

○宮本 智美、鈴木 真、ワン チェンチー

沖縄科学技術大学院大学

P-009 免疫不全および免疫正常のマウスとラットにおける給水瓶飲水の衛生状態比較

○山田 梓、小澤 直幸、谷本 航、森林 嗣宜、小林 慎司、鈴木 信吾、戸高 玲奈、植村 広行、
阿部 嘉津史、渡邊 成美、藤木 省志

ラビックス株式会社

P-010 カニクイザルにおけるLEDカラーライトを用いた視覚エンリッチメント導入の検討

○杉江 勇二、森林 嗣宜、藤木 省志、鈴木 信吾、戸高 玲奈、山田 梓
ラビックス株式会社

P-011 モルモットの飲みこぼした水の衛生的な対処法確立

○小久保 年章、伊賀 わか菜、金子 真輝、大屋 理恵、橋本 規行、高井 紀行
北興化学工業株式会社開発研究所

P-012 ビニールアイソレータを用いた低粉塵床敷の浮遊粉塵数の測定

○中田 茂¹⁾、今井 都泰²⁾、齋藤 宗雄²⁾、大谷 鉄也¹⁾、野澤 侑也¹⁾、末武 剛¹⁾
¹⁾日本クレア株式会社、²⁾株式会社ジック

P-013 ファインバブルを用いた洗浄作業の効率化および節水効果について

○富田 耕平、岡嶋 匠、小杉 祥子、堀 翔太郎、小地沢 麻樹、飯高 健、木村 恵人
日精バイリス株式会社滋賀研究所

P-014 実験動物(ニホンザル)の予期しない死亡に対する原因究明の試み(第3報)

○二宮 賢司¹⁾、二宮 太平^{2,3)}、磯田 昌岐^{2,3)}
¹⁾琉球大学大学院医学研究科法医学講座、
²⁾自然科学研究機構生理学研究所システム脳科学研究領域認知行動発達機構研究部門、
³⁾総合研究大学院大学生命科学研究科生理科学専攻

P-015 ロボット掃除機粉塵を利用した飼育施設の環境モニタリングの検討

○齋藤 直之、福永 徹也、金田 信也
株式会社大塚製薬工場

P-016 創薬のための非臨床薬効薬理試験における産学連携の現状と課題

—アカデミア・製薬企業への調査結果から—

○長岐 すみこ¹⁾、杉山 大介^{1,2)}、赤木 千佳¹⁾、竹内 恵美子¹⁾、八木原 愛¹⁾、阪口 真人¹⁾、村上 宏起¹⁾、
加藤 貴之¹⁾、小川 亨³⁾、鈴木 陸³⁾、河野 仁¹⁾、上島 浩二¹⁾、大室 弘美^{1,4)}
¹⁾日本QA研究会、²⁾広島大学トランスレーショナルリサーチセンター、
³⁾日本製薬工業協会医薬品評価委員会基礎研究部会、⁴⁾武蔵野大学薬学部

P-017 動物実験への理解促進を目的とした一般向け情報発信の試み—動物愛護週間における展示報告—

○山根 到^{1,4)}、山谷 宣子^{2,4)}、関 あずさ^{3,4)}、赤間 倫子⁴⁾、柴田 正志⁴⁾、寺内 宏光⁴⁾、松井 匠作⁴⁾、
楠川 翔悟⁴⁾、堀北 哲也⁴⁾、木村 祐哉⁴⁾
¹⁾自然科学研究機構生理学研究所、²⁾情報・システム研究機構国立遺伝学研究所、
³⁾ふくしま医療機器産業推進機構、⁴⁾獣医コミュニケーション研究会 (NDK)

「実験手技・代替・麻酔・鎮痛」

P-018 デクスメトミジンをを用いたマウスの三種混合麻酔の改変法の開発：有効性および安全性の評価に関する研究

木田 菜月¹⁾、竹田 陽大¹⁾、坂本 和寛¹⁾、渡邊 正輝²⁾、佐々木 宣哉²⁾、○浅野 淳¹⁾
¹⁾鹿児島大学共同獣医学部実験動物学研究室、²⁾北里大学獣医学部実験動物学研究室

P-019 小動物用MRIを用いたマウス精巢の非侵襲的画像診断法の開発

○横田 理^{1,2)}、菅 康佑¹⁾、平井 俊範²⁾、若山 友彦²⁾、宮宗 秀伸³⁾、高橋 祐次¹⁾、山田 隆志¹⁾、北嶋 聡¹⁾

¹⁾国立医薬品食品衛生研究所、²⁾熊本大学大学院・生命科学研究所、³⁾東京医科大学・医学部

P-020 中部大学実験動物教育研究センターにおける染色体工学研究

○岩田 悟^{1,2,3,4)}、長原 美樹¹⁾、三浦 裕美¹⁾、岩本 隆司^{1,2)}

¹⁾中部大学・実験動物教育研究センター、²⁾中部大学・生命健康科学部・生命医科学科、³⁾中部大学・応用生物学部、⁴⁾中部大学・AI数理データサイエンスセンター

P-021 レーダーセンサによる無麻酔下マウスのバイタル測定の試み

○瀬崎 華芳、川辺 敏晃、井上 聖也

アーク・リソース株式会社

P-022 ジフテリア毒素の *in vitro* 検出法の開発

○妹尾 充敏¹⁾、金 玄¹⁾、岩城 正昭²⁾、嶋崎 典子³⁾、見理 剛¹⁾

¹⁾国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所・細菌第二部、²⁾国立健康危機管理研究機構・検定部、³⁾国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所・インフルエンザ研究センター

P-023 ブタの全身麻酔における低体温防止方法の検討

○清遠 萌、羽柴 慎太郎、渡井 幸好、内橋 真悠

日本メドトロニック株式会社

P-024 各種混合麻酔によるカニクイザル心機能への影響

○浅岡 さくら¹⁾、中山 駿矢^{1,2)}、澤田 悠斗³⁾、植木 萌葉⁴⁾、宮部 貴子⁴⁾、兼子 明久⁴⁾、米田 伊吹^{1,2)}、北原 香子¹⁾、上片平 成昭¹⁾、山海 直²⁾、保富 康宏²⁾、鯉江 洋¹⁾、揚山 直英²⁾

¹⁾日本大学獣医生理学研究室、²⁾医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医学研究センター、³⁾麻布大学実験動物学教室、⁴⁾京都大学ヒト行動進化研究センター

P-025 大規模言語モデルを用いたマーマセットの行動分類：クラウド環境とローカル環境における比較

○塚本 晃海、若林 律希、山崎 万喜、菊池 理加、佐々木 えりか

公益財団法人実中研生体機能制御科学研究部

P-026 ヘルペスウイルス潜伏感染モデルの代替法確立を目指して

○田中 聖一

福岡大学

「栄養・生理・生化学」

P-027 たんぱく質としてグルテンを用いた飼料の成長への影響についてマウスとラット間での比較

○伊藤 雅方

関東学院大学

P-028 ロディオラ・ロゼア抽出物によるニワトリ中枢NPY受容体発現の増強

○西村 悠、高橋 英機

九州大学大学院医学研究院実験動物学分野

P-029 Serum anti-Müllerian hormone reflects antral follicle dynamics and ovarian aging in common marmosets

○ Dong-Won Seol¹⁾, Chanseul Kim¹⁾, Jee Hyun Choi¹⁾, Cheoljil Park²⁾, Woonghee Lee¹⁾, Hee Jun Lee³⁾,
Seon A Noh¹⁾, Jinsoo Lee²⁾, Chan-Wook Park⁴⁾, Kyoung-Sun Lee¹⁾

¹⁾Non-Clinical Evaluation Center, Osong Medical Foundation Innovation,

²⁾Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Chungnam National University,

³⁾CHA Fertility Center Gangnam, CHA University School of Medicine,

⁴⁾Department of Obstetrics and Gynecology, Seoul National University College of Medicine

「加齢・老化」

P-030 PETによるミトコンドリアをターゲットとした非侵襲的な卵巣機能の評価

○ 友成 悠葵、大庭 弘行、塚田 秀夫

浜松ホトニクス株式会社

P-031 NOG マウスおよび次世代NOG マウスにおける加齢性肉眼所見の変化と生存率の系統間比較

○ 西脇 恵¹⁾、何 裕遙²⁾、水澤 卓馬²⁾、保田 昌彦²⁾、小倉 智幸²⁾、高橋 利一²⁾

¹⁾日本クレア株式会社技術部、²⁾公益財団法人実中研

P-032 Effects of Thymosin β 4 on diabetic sarcopenia via modulation of muscle–inflammation crosstalk

○ Jihye Choi, Jungkee Kwon

Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Jeonbuk National University

P-033 C57BL/6 マウスの加齢に伴う血液生化学の亜系統差と性差

○ 柳井 修一、石神 昭人

東京都健康長寿医療センター

P-034 Impact of cholesterol-rich fatty liver exosomes on age-related macular degeneration progression

○ Ayun Seol, Jea Sic Jeong, Ji Eun Kim, Hee Jin Song, Su Jeong Lim, Su Ha Wang, Ye Ryeong Kim,
Ye Eun Ryu, Ye Eun Ryu, Beum-su An, Dae Youn Hwang

Department of Biomaterials Science, Pusan National University

P-035 自然老化マイクロミニピッグが切り開く老化研究におけるトランスレーショナル研究

○ 菅井 和久^{1,2)}、鎌田 由依²⁾、藤澤 正彦²⁾、袴田 陽二²⁾、小林 英司^{2,3)}

¹⁾慶應義塾大学医学部、²⁾日本獣医生命科学大学獣医保健看護学科、³⁾小林再生研究所合同会社

「脳・神経・行動」

P-036 膜電位イメージング (VSD) による海馬トリシナプス回路への化学物質影響：BPAと関連物質

○ 富永 貴志^{1,2)}、竹歳 麻紀子¹⁾、富永 洋子¹⁾

¹⁾徳島文理大学神経科学研究所、²⁾徳島文理大学香川薬学部

P-037 Parkin ノックアウトマウスによるドーパミン神経特異的マイトファジーの検証

○ 高柳 有紀^{1,2)}、服部 信孝^{1,3)}、佐藤 栄人^{1,2,3)}

¹⁾順天堂大学大学院医学研究科、²⁾順天堂大学疾患モデル研究室、³⁾順天堂大学神経学講座

P-038 Duchenne型筋ジストロフィーモデルマウスにおける恐怖・不安行動の解析

○堀 秀帆¹⁾、遠藤 整²⁾、大塚 正人³⁾

¹⁾東海大学医学部附属病院研究イノベーションセンター生命科学統合支援室、
²⁾東海大学医学部衛生学公衆衛生学、³⁾東海大学医学部分子生命科学

P-039 糖尿病性神経麻痺性角膜症に対する神経再生療法の開発

塚本 理央、紀 熙華、上野 宏樹、李 成一、○村山 正承

関西医科大学附属生命医学研究所モデル動物部門

P-040 抗ヒトTFR1抗体の血液脳関門および骨格筋への移行性を検証する新規 *in vivo* マウスモデル

○張 詩雨、Meiqi Zhang、Chong Li、Fengxing Gu、Jing Guo、Xiaofei Zhou

Biocytogen Pharmaceuticals (Beijing) Co., Ltd.

P-041 EGFP-miniTurbo マウスの開発と生体内タンパク質ビオチン標識の検討

○林 裕也¹⁾、橋本 美涼¹⁾、鈴木 颯²⁾、水野 聖哉²⁾、中川 寅^{1,3)}、村田 知弥³⁾

¹⁾岐阜大学応用生物科学部生物化学研究室、²⁾筑波大学医学医療系、³⁾岐阜大学高等研究院COMIT

P-042 パーキンソン病の運動症状の仕組みの理解を目指したドーパミンD2受容体ノックダウンマウスの開発

○笹岡 俊邦¹⁾、小田 佳奈子¹⁾、福田 七穂¹⁾、知見 聡美²⁾、齊藤 奈英¹⁾、崎村 建司¹⁾、阿部 学¹⁾、
南部 篤²⁾

¹⁾新潟大学脳研究所、²⁾生理学研究所

P-043 マウスの生産方法が Pre-pulse inhibition test に及ぼす効果

○山田 郁子、串田 知子、齊藤 来実、古瀬 民生、田村 勝

理化学研究所バイオリソース研究センターマウス表現型研究開発室

P-044 Atoh1-Cre 誘導性 PRMT1 欠損はマウスの協調運動性および痛覚・聴覚の感受性を低下させる

○今枝 ほか¹⁾、橋本 美涼¹⁾、藤井 一希^{2,3)}、高雄 啓三^{2,3)}、中川 寅^{1,4)}

¹⁾岐阜大学応用生物科学部生物化学研究室、²⁾富山大学学術研究部医学系行動生理学講座、
³⁾富山大学生命科学先端研究支援ユニット動物実験施設、⁴⁾岐阜大学高等研究院COMIT

P-045 細胞外 α -シヌクレインのミクログリア内取り込み

○伊藤 益美^{1,2)}、伊藤 日加瑠^{1,2)}、西道 教尚³⁾、横崎 恭之³⁾

¹⁾香川大学医学部総合生命科学講座、²⁾香川大学研究基盤センター、³⁾抗体医学研究所

P-046 慢性炎症を伴う SLE モデルマウス母体環境は雄産仔にうつ様行動の増加と協調運動性の異常を引き起こす

○藤井 一希^{1,2,3)}、宮田 実咲²⁾、腰高 由美恵²⁾、柳橋 裕子²⁾、本郷 翔子²⁾、吉田 知之^{3,4)}、高雄 啓三^{1,2,3)}

¹⁾富山大学学術研究部医学系行動生理学講座、
²⁾富山大学生命科学先端研究支援ユニット動物実験施設、³⁾富山大学アイドリッグ脳科学研究センター、
⁴⁾富山大学学術研究部医学系分子神経科学講座

P-047 常設型課題デバイスにおける入室経路の空間的位置および報酬条件のコモンマーマセット行動への影響

○菊池 理加、坂本 晃海、山崎 万喜、汲田 和歌子、佐々木 えりか

公益財団法人実中研

「解剖・組織・病理・病態」

P-048 Pulmonary responses to PM_{2.5}-relevant brake wear particles following acute exposure in mice

○ Gyuri Kim, Soyeon Jeon, Wonho Choi, Wan-Seob Cho

Department of Health Science, Dong-A university

P-049 甘藷(サツマイモ)葉茎由来成分の消化管粘膜に対する影響評価

○ 藤澤 正彦¹⁾、小田 朝陽¹⁾、菅井 和久²⁾、鎌田 由衣¹⁾、袴田 陽二¹⁾

¹⁾日本獣医生命科学大学、²⁾慶応大学医学部

P-050 PPAR-γ activation mitigates indium oxide nanoparticle-induced secondary pulmonary alveolar proteinosis in rats

○ Soyeon Jeon, Wan-Seob Cho

Department of Health Sciences, Dong-A University

「繁殖・系統開発」

P-051 NOG-W41の体重推移および繁殖成績の評価

○ 星野 拓也¹⁾、水澤 卓馬¹⁾、宮下 一成²⁾、野村 朋正³⁾、小倉 智幸¹⁾、高橋 利一¹⁾、林元 展人¹⁾

¹⁾公益財団法人実中研、²⁾株式会社ジェー・エー・シー、³⁾株式会社エーテック

P-052 NOG-W41 マウスの30週齢時における背景データ解析

○ 水澤 卓馬¹⁾、星野 拓也¹⁾、宮下 一成²⁾、野村 朋正³⁾、小島 圭介¹⁾、富山 香代¹⁾、小倉 智幸¹⁾、高橋 利一¹⁾、伊藤 亮治¹⁾、林元 展人¹⁾

¹⁾公益財団法人実中研、²⁾株式会社ジェー・エー・シー、³⁾株式会社エーテック

P-053 マウス精子に発現するCD55タンパク質の受精過程における機能解析

○ 竹中 慎、渡邊 仁美、刀谷 在美、中馬 新一郎、近藤 玄

京都大学医生物学研究所

P-054 Folliculogenesis abnormalities in Nobox knockout rat

○ Somaia Zakzok, Ahmed M. Moustafa, Asmaa M. Youssef, Kazi Mahnaz Mehrin, Akira Suzuki, Hisashi Oishi

Department of Comparative and Experimental Medicine, Nagoya City University

P-055 カニクイザルにおける排卵期の卵胞とホルモン動態の解析

○ 下澤 律浩

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

「発生工学」

P-056 胚盤胞補完法によるラット多能性幹細胞由来の腎臓の作製

○ 由利 俊祐¹⁾、磯谷 綾子²⁾

¹⁾国立長寿医療研究センター研究所、²⁾奈良先端大

P-057 体細胞核移植クローン(SCNT)胚で観察されるスプライシング異常

○井上 貴美子^{1,2)}、川田 健太郎^{3,4)}、四方 大樹¹⁾、秋光 信佳⁴⁾、小倉 淳郎¹⁾

¹⁾理化学研究所、²⁾筑波大、³⁾産業技術総合研究所、⁴⁾東大

P-058 カルボキシル化ポリ-L-リジンを含むマウス精子保存液が凍結融解後の生存性に与える影響

○安齋 政幸^{1,2)}、野田 義博³⁾、堀江 拳斗⁴⁾、長岡 莉穂⁴⁾、山脇 萌々⁴⁾、松本 和也^{1,2,4)}

¹⁾近畿大学先端技術総合研究所、²⁾近畿大学大学院生物理工学研究科、³⁾東京科学大学、⁴⁾近畿大学生物理工学部

P-059 卵巣移植によるJF1野生由来マウスの産仔作出の評価

○長谷川 歩未、持田 慶司、小倉 淳郎、井上 貴美子

理化学研究所バイオリソース研究センター

P-060 最も簡便なマウス胚のガラス化保存法のプロトコールの検討

○持田 慶司、守田 昂太郎、長谷川 歩未、小倉 淳郎、井上 貴美子

理化学研究所バイオリソース研究センター

P-061 近交系マウスの透明帯除去卵子及び凍結融解精子を用いた体外受精胚の培養法の検討

○守田 昂太郎、持田 慶司、長谷川 歩未、小倉 淳郎、井上 貴美子

理研BRC

P-062 「1遺伝病—1ベクター」治療を可能とする安全なノックインアデノベクターの開発とマウス治療モデル

○中西 友子¹⁾、山地 恵¹⁾、中村 真理子¹⁾、斎藤 泉²⁾、佐藤 栄人¹⁾

¹⁾順天堂大学大学院医学研究科疾患モデル研究センター、
²⁾順天堂大学大学院医学研究科生理学第二講座

P-063 エレクトロポレーション(テイク)法によるゲノム編集動物作製におけるディスプレイチャンバーの有用性

○金子 武人¹⁾、中川 優貴¹⁾、石川 芽久美²⁾、渥美 優介²⁾、宮村 敦²⁾、早川 清²⁾、早川 靖彦²⁾

¹⁾大阪公立大学、²⁾ネッパジーン株式会社

P-064 卵管内に挿入した空気相は胚移植後の胚発生率に影響を及ぼさない

○玉里 友宏¹⁾、小林 慶子¹⁾、宮城 美生¹⁾、濱田 優子¹⁾、藤木 雄太¹⁾、内田 あや²⁾、町浦 考洋¹⁾

¹⁾ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社モデルジェネレーション&ブリーディングサービス、
²⁾ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社テクニカルインフォメーションサービスグループ

P-065 精子形成異常を示すCib4欠損マウスにおける精巢内精子ICSIの検討

○古田 なつき^{1,2)}、宮田 治彦^{1,2,3)}、畑中 勇輝^{1,2,3)}、江森 千紘^{1,2,3)}、中川 達哉^{3,4)}、西岡 佐紀³⁾、
Zaixu Wang^{3,4)}、山本 魁音²⁾、竹村 友希³⁾、森 光子³⁾、伊川 正人^{1,2,3,4)}

¹⁾大阪大学微生物病研究所附属感染動物実験施設、
²⁾大阪大学免疫学フロンティア研究センター附属感染動物実験施設、
³⁾大阪大学微生物病研究所遺伝子機能解析分野、⁴⁾大阪大学大学院薬学研究科遺伝子機能解析学分野

P-066 超過剰排卵誘起法による自然交配由来マウス二細胞期胚の卵管内保存法

○山下 紀代子^{1,2)}、中村 智^{1,2)}、坂口 摩姫^{1,2)}、弟子丸 優果^{1,2)}、打越 喜春^{1,2)}、古上 圭輔^{1,2)}、三小田 伸之^{2,3)}、高橋 郁¹⁾、坂口 香織¹⁾、坂本 亘¹⁾、土山 修治¹⁾、中尾 聡宏¹⁾、中川 佳子¹⁾、中潟 直己³⁾、竹尾 透¹⁾

¹⁾熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²⁾九動株式会社、³⁾熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 生殖工学共同研究分野

P-067 生体内塩基編集法を用いた条件付き多重変異マウス作製法の確立

○増田 百香¹⁾、鈴木 颯²⁾、西村 瑞稀¹⁾、ラク ホン³⁾、三上 夏輝³⁾、水野 聖哉²⁾

¹⁾筑波大学フロンティア医科学学位プログラム、²⁾筑波大学生命科学動物資源センター、³⁾筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラム

P-068 筑波大学生命科学動物資源センターにおける遺伝子改変マウス作製成績

○三上 夏輝^{1,2,3)}、鈴木 颯²⁾、谷本 陽子²⁾、加藤 花名子²⁾、石田 みゆき²⁾、壺岐 夏実²⁾、坂田 裕美²⁾、長谷川 賀一²⁾、大徳 陽子²⁾、竹村 めぐみ²⁾、高橋 智²⁾、水野 聖哉²⁾

¹⁾筑波大学人間総合科学研究群ヒューマンバイオロジー学位プログラム、²⁾筑波大学生命科学動物資源センター、³⁾大阪大学微生物病研究所

P-069 生殖細胞特異的Max欠損マウスによる減数分裂抑制機構の解明

○鈴木 歩¹⁾、浦西 洸介²⁾、西本 正純²⁾、水野 洋介³⁾、高橋 智¹⁾、奥田 晶彦²⁾、水野 聖哉¹⁾

¹⁾筑波大学・生命科学動物資源センター、²⁾埼玉医科大学・医学部・ゲノム基礎医学、³⁾埼玉医科大学・医学部・中央研究施設

P-070 129系統とNOD系統マウスES細胞における自己複製安定性関連スプライシングパターンの比較解析

○大塚 哲

京都府立医科大学・実験動物センター

P-071 前核出現前のマウス受精卵のガラス化保存が発生能に及ぼす影響

○弟子丸 優果^{1,2)}、山下 紀代子^{1,2)}、坂口 摩姫^{1,2)}、打越 喜春^{1,2)}、古上 圭輔^{1,2)}、中村 智^{1,2)}、三小田 伸之^{2,3)}、高橋 郁¹⁾、坂口 香織¹⁾、坂本 亘¹⁾、土山 修治¹⁾、中尾 聡宏¹⁾、中川 佳子¹⁾、中潟 直己³⁾、竹尾 透¹⁾

¹⁾熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²⁾九動株式会社、³⁾熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 生殖工学共同研究分野

P-072 動物飼養保管施設における照明環境のLED化がマウス体外受精および胚移植成績に及ぼす影響

○坂口 摩姫^{1,2)}、山下 紀代子^{1,2)}、弟子丸 優果^{1,2)}、打越 喜春^{1,2)}、古上 圭輔^{1,2)}、中村 智^{1,2)}、三小田 伸之^{2,3)}、高橋 郁¹⁾、坂口 香織¹⁾、坂本 亘¹⁾、土山 修治¹⁾、中尾 聡宏¹⁾、中川 佳子¹⁾、中潟 直己³⁾、竹尾 透¹⁾

¹⁾熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²⁾九動株式会社、³⁾熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 生殖工学共同研究分野

P-073 重症免疫不全ラットの凍結保存精子を用いた体外受精の検討

○竹鶴 裕亮¹⁾、服部 晃佑¹⁾、石田 紗恵子¹⁾、林 順仁¹⁾、山内 祐子¹⁾、飯田 龍哉¹⁾、吉見 一人^{1,2)}、真下 知士^{1,2)}

¹⁾東京大学医科研究実験動物研究施設、²⁾東京大学医科研究システム疾患モデル研究センター

P-074 日本クレア(株)における生殖工学技術の改良とラットへの応用

○杉山 卓郎、西脇 恵

日本クレア株式会社技術部

P-075 Grad-CAMを用いた胚画像分類AIにおけるクラス予測に寄与する領域の可視化解析

○中村 和臣¹⁾、妹尾 美砂子²⁾、吉村 祐貴³⁾

¹⁾鳥取大学医学部附属病院新規医療研究推進センター、²⁾鳥取大学研究基盤戦略センター動物実験施設、³⁾鳥取大学医学部生理学講座統合生理学分野

P-076 アラビアトゲマウスにおける発情周期の同定と排卵特性の解析

○田所 和重^{1,2)}、高瀬 比菜子²⁾、清成 寛^{1,2)}

¹⁾兵庫県立大学大学院理学研究科、²⁾理化学研究所生命機能科学研究センター生体モデル開発チーム

P-077 モルモットの胚における電気穿孔法適用の初期的検討

○青島 拓也、飯島 健太、高林 秀次

浜松医科大学

P-078 最長寿齧歯類ハダカデバネズミの性周期に対するホルモン操作の試み

○河村 佳見^{1,2)}、奥村 果林^{1,2)}、鈴木 悠介^{1,2)}、岡 香織^{1,2)}、三浦 恭子^{1,2)}

¹⁾九州大学大学院医学研究院応用幹細胞医科学部門長寿幹細胞医学分野、²⁾熊本大学大学院生命科学研究部老化・健康長寿学講座

P-079 急速融解によるクライオチューブを用いた桑実期胚超低温保存による秋田ジャンボウサギ遺伝資源の保全

○藤井 有里子¹⁾、佐藤 武¹⁾、柳田 愛美¹⁾、東谷 美沙子¹⁾、及川 剛宗¹⁾、前田 達弘²⁾、高井 直史²⁾、西島 和俊³⁾、松田 幸久¹⁾、関 信輔¹⁾

¹⁾秋田大学バイオサイエンス教育・研究サポートセンター動物実験部門、²⁾北山ラベス株式会社、³⁾生理学研究所動物資源共同利用研究センター

P-080 CRISPR/Cas9 システムを用いた NANOS2 遺伝子欠損モデルウサギの作製

○行山 貴子¹⁾、長田 泰幸¹⁾、前田 達弘¹⁾、松浦 豊和¹⁾、久保田 栞莉¹⁾、西岡 和美²⁾、小林 俊寛²⁾

¹⁾北山ラベス株式会社、²⁾自然科学研究機構生理学研究所

P-081 ブタ胚盤胞におけるダブルノックイン評価系の構築

○原 弘真^{1,2)}、野口 光央¹⁾、谷原 史倫^{1,2,3)}、井上 誠^{1,4,5)}、花園 豊^{1,2)}、本多 新^{1,2)}

¹⁾自治医科大学先端医療技術開発センター、²⁾自治医科大学再生医学研究部、³⁾徳島大学、⁴⁾住友ファーマ株式会社、⁵⁾株式会社 RACTHERA

P-082 ミトコンドリア標的抗酸化剤のピソミチン (SKQ1) 添加がブタ卵母細胞の体外成熟及び胚発生に及ぼす影響

○中山 雄一朗、Bin Liu、Qingyi Lin、鳥越 菜々花、Suong Thi Nguyen、中井 綾、平田 真樹、長原 恵、音井 威重、谷原 史倫

徳島大学バイオイノベーション研究所

P-083 UCAY-mediated genome editing in porcine embryos

○Suong Thi Nguyen¹⁾、So Makabe²⁾、Hideyuki Kodama²⁾、Yuichi Kobashi²⁾、Yaku Yumu²⁾、Yuichiro Nakayama¹⁾、Mao Matsushita¹⁾、Aya Nakai¹⁾、Maki Hirata¹⁾、Megumi Nagahara¹⁾、Yasuhiro Moriizumi²⁾、Fuminori Tanihara¹⁾

¹⁾Bio-Innovation Research Center, Tokushima university, ²⁾BEX Co., Ltd.

P-084 一卵性双生児コモンマーモセット (*Callithrix jacchus*) 作出の基盤確立

○黒滝 陽子¹⁾、的場 章悟²⁾、大木 研一³⁾、佐々木 えりか¹⁾

¹⁾公益財団法人実中研、²⁾国立研究開発法人理化学研究所、³⁾東京大学大学院医学系研究科

P-085 両生類における生殖細胞移植法の開発

○関 信輔¹⁾、藤井 有里子¹⁾、東谷 美沙子¹⁾、及川 剛宗¹⁾、柳田 愛美¹⁾、柏木 昭彦²⁾、柏木 啓子²⁾、萩野 肇²⁾

¹⁾秋田大学バイオサイエンス教育・研究サポートセンター動物実験部門、²⁾広島大学両生類研究センター

P-086 オポッサム初期胚体外培養法の最適化

○草川 友希^{1,2)}、Xuchi Pan²⁾、清成 寛^{1,2)}

¹⁾兵庫県立大学、²⁾理化学研究所生命機能科学研究センター生体モデル開発チーム

「遺伝・育種・遺伝子機能」

P-087 皮膚がん感受性を規定する *Pak1* 依存性遺伝的修飾因子の同定

○奥村 和弘¹⁾、音山 敬祐¹⁾、齋藤 慈¹⁾、田中 晴空¹⁾、荒木 喜美²⁾、若林 雄一¹⁾

¹⁾千葉県がんセンター研究所・がんゲノムセンター・実験動物研究部、

²⁾熊本大学生命資源研究・支援センター疾患モデル分野

P-088 MTMR6は雄の妊孕性維持に必須である

○徳弘 圭造¹⁾、Tuyen Thi Thanh Nguyen¹⁾、日笠 幸一郎²⁾、竹本 一政¹⁾

¹⁾関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム編集部門、

²⁾関西医科大学附属生命医学研究所ゲノム解析部門

P-089 マウス *Foxe3*ハイポモルフ変異における白内障は複数の遺伝子によって修飾される

○石田 有輝¹⁾、高橋 諒¹⁾、古郡 真宗¹⁾、吉川 欣亮²⁾、和田 健太¹⁾

¹⁾東農大院・生物産業、²⁾都医学研・基礎医科学

P-090 *In-vivo* screening essential genes in germ cells by using Cas9-based conditional knock-out method

○Chi Lieu Kim Nguyen¹⁾、Madoka Aoki¹⁾、Fumihiko Sugiyama²⁾、Satoru Takahashi²⁾、Seiya Mizuno²⁾

¹⁾PhD. Program in Human Biology, School of Integrative and Global Majors, University of Tsukuba,

²⁾Laboratory Animal Resource Center and Trans-Border Medical Research Center, University of Tsukuba

P-091 精子変態におけるRNA結合タンパクDDX17の重要性

○青木 円果¹⁾、越後貫 成美²⁾、Chi Lieu Kim Nguyen¹⁾、三上 夏輝¹⁾、松本 生成¹⁾、滝 大斗¹⁾、永井 紗希³⁾、村田 知弥⁴⁾、久野 朗広⁵⁾、井上 貴美子²⁾、小倉 淳郎²⁾、鈴木 歩⁵⁾、水野 聖哉⁵⁾

¹⁾筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラム、

²⁾理化学研究所バイオリソース研究センター統合発生工学研究開発室、

³⁾筑波大フロンティア医科学学位プログラム、⁴⁾岐阜大学高等研究院COMIT、

⁵⁾筑波大学医学医療系生命科学動物資源センター

P-092 精子無力症の新規原因遺伝子 *Gm614* の機能解析

○谷川 亜里紗、宮坂 佳樹、徳永 友子、西村 愛美、中尾 和貴

大阪大学・医学部・実験動物学

P-093 近接ビオチン標識による精子軸系タンパク質 *EFCAB5* の同定と機能解析

○宮田 治彦¹⁾、Haoting Wang^{1,2)}、嶋田 圭祐¹⁾、Anh Hoang Pham^{1,2)}、大山 裕貴¹⁾、鴨下 真紀¹⁾、小林 浩子¹⁾、大浦 聖矢¹⁾、藪田 紀一¹⁾、伊川 正人^{1,2)}

¹⁾大阪大学微生物病研究所、²⁾大阪大学大学院薬学研究科

P-094 非古典的翻訳開始因子の欠損はイソプロテレノール誘発性心不全における小胞体ストレスを増悪化させる

○宍戸 皓也¹⁾、浅井 健宏^{1,2)}、綾田 龍人¹⁾、田邊 充樹³⁾、水流 功春³⁾、小川 哲弘^{4,5)}、
栃内 亮太^{6,7)}、角田 茂^{1,5,7)}

¹⁾東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻実験動物学研究室、
²⁾東京科学大学生命理工学院黒田研究室、³⁾プライムテック株式会社、
⁴⁾東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命工学専攻分子育種学研究室、
⁵⁾東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構、
⁶⁾東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻獣医衛生学研究室、
⁷⁾東京大学大学院農学生命科学研究科食の安全研究センター

P-095 マウスにおける生殖細胞と体細胞間のゲノム変異応答の比較解析

○刀谷 在美、細川 美穂子、高野 友篤、李 京航、渡邊 仁美、竹中 慎、近藤 玄、中馬 新一郎
京都大学医生物学研究所

P-096 小胞体関連分解 (ERAD) を担う E3 ユビキチンリガーゼの生殖過程における機能解析

○北野 日佳理¹⁾、三浦 紗也加¹⁾、吉村 萌花¹⁾、須藤 カツ子²⁾、熊谷 勝義³⁾、藤田 英俊¹⁾
¹⁾大阪工業大学、²⁾東京医科大学、³⁾人間総合科学大学

P-097 Gm4779, 8030474K03Rik は精子形成に必須ではない

○住井 颯汰¹⁾、鈴木 歩²⁾、鈴木 颯²⁾、三上 夏輝³⁾、水野 聖哉²⁾
¹⁾筑波大学・医療科学類、²⁾筑波大学・生命科学動物資源センター、
³⁾筑波大学・ヒューマンバイオロジー学位プログラム

P-098 コモンマーモセットの個体識別のための STR マーカーパネル

○山本 真史¹⁾、篠原 晴香²⁾、佐々木 えりか²⁾、林元 展人¹⁾
¹⁾公益財団法人実中研 ICLAS モニタリングセンター、²⁾公益財団法人実中研生体機能制御科学研究部

「薬理・安全性」

P-099 神経芽腫において DNA 損傷応答阻害剤が MYCN 標的化合物と相乗効果を示す

○高取 敦志、頼 笑疑、養田 裕行、篠崎 喜脩
千葉県がんセンター研究所がん先進治療開発研究室

P-100 Long-term effects of SARS-CoV-2 mRNA vaccination on T cell function in juvenile Sprague-Dawley rats

○Hee-Jin Bae^{1,2)}、Byeong-Cheol Kang^{1,2)}、Harin Jo³⁾、In-Young Park³⁾、Na-Hyun Kim³⁾、Euna Kwon²⁾、
Jae-Hun Ahn²⁾、Na-Young Lee^{2,3)}、Jae-Hwan Nam⁴⁾、Jeong-Hwan Che^{1,2)}、Jun-Won Yun³⁾
¹⁾Seoul National University College of Medicine、²⁾Seoul National University Hospital、
³⁾Seoul National University College of Veterinary Medicine、⁴⁾The Catholic University of Korea

P-101 ヒト化肝臓マウスによる CYP3A 酵素を介した薬物代謝および薬物誘発毒性の評価

○上原 正太郎、樋口 裕一郎、米田 直央、末水 洋志
公益財団法人実中研

P-102 Impact of UV-aged polyethylene microplastics on colonic dysfunction

○Su Jeong Lim, Ji Eun Kim, Hee Jin Song, Ayun Seol, Ye Eun Ryu, Ye Ryeong Kim, Sungbaek Seo,
Dae Youn Hwang
Department of Biomaterials Science, Pusan National University

「微生物・感染・免疫」

P-103 廃床敷と媒介用フィルターを使用したヘルスマonitoring—病原微生物の長期間にわたる検出状況—

佐古典久¹⁾、直井実穂²⁾、中村孝博²⁾、市瀬誠一³⁾、○加藤克彦¹⁾

¹⁾ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社、²⁾明治大学農学部動物生理学研究室、
³⁾EPトレーディング株式会社

P-104 *Corynebacterium bovis* の野外株を用いた病態解明を目的とした感染実験

○富山友里奈¹⁾、森田華子¹⁾、田中舞¹⁾、保田昌彦²⁾、富山香代³⁾、林元展人^{1,3)}

¹⁾公益財団法人実中研ICLASモニタリングセンター、²⁾公益財団法人実中研病理解析センター、
³⁾公益財団法人実中研動物資源センター

P-105 生体を用いないスワブ・糞便からの微生物モニタリング検査についての検討

○森田華子、山本真史、富山友里奈、田中舞、小林彩乃、石田智子、林元展人

(公財)実中研ICLASモニタリングセンター

P-106 CD28シグナル依存的なT細胞の活性化を制御するカルボラン化合物の作用評価

○小川修平¹⁾、垣内亮³⁾、越智咲希²⁾、吉森篤史⁴⁾、中村浩之³⁾、織田昌幸²⁾

¹⁾東京理科大学、²⁾京都府立大学、³⁾東京科学大学、⁴⁾株式会社理論創薬研究所

P-107 無菌マウス消化管内組織および内容物における *Helicobacter pylori* の生態と形態について

○北条史¹⁾、大崎敬子²⁾

¹⁾杏林大学大学院医学研究科共同研究施設部門実験動物施設部門、²⁾杏林大学医学部予防医学教室

P-108 低濃度過酸化水素ガスによるマウス盲腸蟻虫卵の不活化の検討

○井上貴史¹⁾、三上崇徳²⁾、桑原浩輔³⁾、岡崎貢⁴⁾、今井都泰⁵⁾

¹⁾岡山理科大学獣医学部、²⁾川崎医科大学中央研究センター、³⁾十全バイオシステムズ、
⁴⁾株式会社グロービック、⁵⁾株式会社ジック

P-109 モニライザ[®]HANTA におけるストレプトアビジンプレート変更の検討

○田中舞¹⁾、石田智子¹⁾、野津量子²⁾、山本真史¹⁾、小澤美幸³⁾、野口敬康³⁾、林元展人¹⁾

¹⁾公益財団法人実中研ICLASモニタリングセンター、²⁾公益財団法人実中研動物資源技術センター、
³⁾わかもと製薬株式会社

P-110 実験施設コモンマームセットにおける *C. difficile* 感染症 と腸内微生物叢を介した新規治療の検討

○重野佑布子、佐野千枝、末永健、新美君枝

理化学研究所脳神経科学研究センター動物資源開発支援ユニット

P-111 (公財)実中研ICLASモニタリングセンター九州サテライトにおける微生物モニタリング検査実績

○村上雄哉¹⁾、落合勇仁¹⁾、卯野耕大¹⁾、西川尊樹¹⁾、辻本三佳¹⁾、森田華子²⁾、田中舞²⁾、
林元展人²⁾

¹⁾九動株式会社、²⁾公益財団法人実中研ICLASモニタリングセンター

「疾患モデル」

P-112 ベネズエラウマ脳炎ウイルス感染感受性動物の検討

○谷口怜^{1,2)}、田島茂¹⁾、林昌宏¹⁾、海老原秀喜¹⁾

¹⁾国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所、²⁾東京大学

P-113 マイクロミニピッグを用いたLPS投与による急性腎障害モデルの構築

杷野 一輝¹⁾、古橋 和拡^{2,3)}、田中 章仁²⁾、松本 惇²⁾、○永井 文楓⁴⁾、高須 正規^{1,5)}

¹⁾岐阜大学高等研究院、²⁾名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学、
³⁾名古屋大学高等研究院、⁴⁾岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科、
⁵⁾岐阜大学One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター

P-114 Deletion of the non-coding *Tardbp* 3'UTR impairs TDP-43 regulation and motor function in mice

○Tra Thi Huong Dinh¹⁾、Chigusa Imura¹⁾、Mayu Shiokawa¹⁾、Shinya Ayabe²⁾、Atsushi Yoshiki²⁾、
Haruhisa Inoue^{3,4)}、Takanori Amano¹⁾

¹⁾Next Generation Human Disease Model Research Team, RIKEN BRC,
²⁾Experimental Animal Division, RIKEN BRC,
³⁾iPSC-based Drug Discovery and Development Team, RIKEN BRC,
⁴⁾Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Kyoto University

P-115 Anti-hyperglycemic and β -cell protective effects of broccoli stem extract *in vitro* and *in vivo* model

○Yuseong Jang, Hyeon-Gi Paik, Jihye Choi, Hwal Choi, Jungkee Kwon

Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Jeonbuk National University

P-116 Co-administration of fermented gold kiwi attenuates GLP-1RA-induced constipation worsening

○Hyeon-Gi Paik, Jungkee Kwon

Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary, Jeonbuk National University

P-117 17 β -estradiol administration ameliorates menopause-associated phenotypes in aged ovariectomized mice

○Jiyoun Jeong, Jungkee Kwon

Department of Laboratory Animal Medicine, Jeonbuk National University

P-118 C57BL/6JJcl マウスに対する高脂肪食 (HFD32) の経時的負荷の影響について

○柏井 正志¹⁾、瀧崎 健二¹⁾、小牧 聡子¹⁾、橋本 昌幸¹⁾、村田 明日香¹⁾、大隅 定明¹⁾、太田 毅²⁾、
篠原 雅巳³⁾

¹⁾日本クレア株式会社石部生育場、²⁾京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻生体機構分野、
³⁾日本クレア株式会社特性検査管理室

P-119 尿路結石再発モデルにおけるCaOx結晶形成のバルドキシロンメチルを介した抑制効果

○赤井 良子¹⁾、牛本 千春子^{2,3)}、杉木 滋²⁾、國井 建司郎²⁾、井上 慎也²⁾、岩脇 隆夫¹⁾、宮澤 克人²⁾

¹⁾金沢医科大学総合医学研究所細胞医学研究分野、²⁾金沢医科大学・医学部・泌尿器科学教室、
³⁾なござわ腎泌尿器科クリニック

P-120 ビタミンC合成系Rgn (SMP30) 欠損による老化マウスの開発

○後藤 元人、江崎 陽子、小牧 裕司、高橋 利一、末松 誠

(公財) 実中研

P-121 筋強直性ジストロフィー1型疾患モデルの開発および表現型評価

○宗 庭羽、Zhao Di、石田 紗恵子、真下 知士

東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野

- P-122 新規光増感色素を用いた非侵襲的脳梗塞モデル作製法の開発**
○後藤 俊志、上田 知永、堤 孔美、片岡 洋祐
神戸大学
- P-123 Characterization of phenotypes for age-related macular degeneration in FVB/N-C3^{em1Hlee} /Korl mice**
○Dae Youn Hwang, Ji Eun Kim, Ayun Seol, Hee Jin Song, Su Jeong Lim, Ye Eun Ryu, Ye Ryeong Kim
Department of Biomaterials Science, Pusan National University
- P-124 cAMP signaling-dependent effects of natural products for constipation in different disease models**
○Hee Jin Song, Ji Eun Kim, Ayun Seol, Su Jeong Lim, Ye Eun Ryu, Ye Ryeong Kim, Dae Youn Hwang
Department of Biomaterials Science, Pusan National University
- P-125 MAD2L1BP 欠損が CD30 陽性造血器腫瘍 xenograft の腫瘍形成・増殖に及ぼす影響**
○武井 則雄¹⁾、須藤 啓斗²⁾、中川 雅夫²⁾
¹⁾北海道大学医学研究院附属動物実験施設、²⁾北海道大学病院血液内科
- P-126 ヒト好中球が分化するヒト化マウスを用いた好中球性喘息モデルの構築**
○大野 裕介^{1,2)}、後藤 元人¹⁾、高橋 利一¹⁾、伊藤 亮治¹⁾
¹⁾公益財団法人実中研、²⁾東北大学大学院医学系研究科
- P-127 タウΔK280変異によるピック病モデルマウスの作製**
○細川 雅人^{1,2)}、鈴掛 雅美²⁾、江頭 陽¹⁾、西中川 拓也¹⁾、石橋 大輔¹⁾、長谷川 成人²⁾
¹⁾福岡大学薬学部免疫・分子治療学研究室、²⁾東京都医学総合研究所認知症研究プロジェクト
- P-128 公的臍帯血資源を活用した効率的ヒト化マウス作製法の開発**
○中野 愛里¹⁾、町山 裕知²⁾、柳下 薫寛³⁾、小山 正平²⁾、濱田 哲暢³⁾、葛西 秀俊¹⁾
¹⁾国立がん研究センター研究所動物実験施設、²⁾国立がん研究センター研究所免疫ゲノム解析部門、³⁾国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野
- P-129 骨格筋再生過程における非古典的翻訳開始因子 eIF2A および eIF2D 発現の検討**
○倉岡 陸季^{1,2)}、藤沢 はるか¹⁾、宍戸 皓也²⁾、浅井 健宏^{2,3)}、角田 茂^{2,4,5)}
¹⁾日獣大・動物科・実験動物学、²⁾東大院・農学生命科学・実験動物学、³⁾東京科学大・生命理工学・黒田研、⁴⁾東大院・農学生命科学・食安セ、⁵⁾東大・微物イノベ連携
- P-130 糖尿病性炎症・合併症研究に有用な C57BL/6 背景 *Ins1*^{C96Y} 変異マウスの確立**
○中野 堅太、清水 有紀子、新井 哲也、福田 沙月、伝 恵理奈、岡村 匡史
国立健康危機管理研究機構国際医療研究所動物実験管理部
- P-131 Leptin deficiency reduces nonalcoholic steatohepatitis-associated hepatocarcinogenesis in mice**
○Jinseon Shin, Seungwoo Lee, Hye-Ji Na, Woo-Jin Jeon, Bang-hyun Kim, Sun-Wook Woo
Nonclinical Resources Research Division, National Institute of Food and Drug Safety Evaluation, Ministry of Food and Drug Safety (MFDS)

P-132 Fermented fig (*Ficus carica* L.) improves hyperlipidemia and hepatic metabolism in high-cholesterol diet-fed rats

○Hwal Choi, Jungkee Kwon

Department of Laboratory Animal Medicine, College of Veterinary Medicine, Jeonbuk National University

P-133 Gastroprotective effects of fermented fig (*Ficus carica* L.) in an HCl/ethanol-induced acute gastritis rat

○Sehyun Park

Department of Laboratory Animal Medicine, Jeonbuk National University

P-134 rGONAD法を用いて作製したアルポート症候群モデルラットの病態の解明

○北村 真優美、難波 真澄、小林 朋絵、古家野 孝行、平松 寛明、松山 誠

重井医学研究所分子遺伝部門

P-135 ENaC 阻害による食塩感受性PKDモデルラットの集合管嚢胞形成への影響

○吉村 文¹⁾、白水 貴大¹⁾、釘田 雅則¹⁾、熊本 海生航¹⁾、山口 太美雄²⁾、長尾 静子¹⁾

¹⁾藤田医科大学研究推進本部病態モデル先端医学研究センター、

²⁾鈴鹿医療科学大学保健衛生学部臨床検査学科

P-136 シスチノーシス(シスチン症)モデルラットを用いたCTNS遺伝子変異の評価

○清水 有紀子¹⁾、中野 堅太¹⁾、山本 裕香²⁾、片桐 大輔³⁾、岡村 匡史¹⁾

¹⁾国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所動物実験管理部、

²⁾国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター眼科、

³⁾国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター腎臓内科

P-137 神経網膜を欠失するNAKラットの表現型に關与する遺伝子発現と染色体逆位

○落合 弘光¹⁾、原 菜摘¹⁾、倉本 一希²⁾、橋詰 良一¹⁾、Rahul Sk³⁾、興石 雄一⁴⁾、吉川 欣亮⁵⁾、
和田 健太^{1,2)}

¹⁾東京農業大学大学院・生物産業学研究所、²⁾東京農業大学・生物産業学部、

³⁾東京農業大学・生物資源ゲノム解析センター、

⁴⁾北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所・ワクチン研究開発部門、

⁵⁾東京都医学総合研究所・基礎医科学分野

P-138 先天性溶血性貧血モデルKKラットの骨髓細胞の解析

長坂 夏奈¹⁾、長塚 蘭奈¹⁾、林 健太¹⁾、小田 康雅²⁾、田中 美有³⁾、清水 律子⁴⁾、松本 清司⁵⁾、
○庫本 高志¹⁾

¹⁾東京農業大学農学部動物科学科、²⁾シスメックス株式会社、³⁾大阪公立大学獣医病理学教室、

⁴⁾東北大学大学院医学系研究科、⁵⁾信州大学

P-139 先天性高眼圧モデル「COHウサギ」における加齢に伴う病態進行の解析

○三澤 英徳、上島 和己、竹野 菜奈美、高井 直史、原田 顕範、三上 博史

北山ラベス株式会社

P-140 ニホンザルにおいて3世代にわたり発症した肥大型心筋症の遺伝子解析

○澤田 悠斗^{1,2)}、塚本 篤士¹⁾、兼子 明久³⁾、鯉江 洋⁴⁾、中山 駿矢⁴⁾、郷 康広⁵⁾、辰本 将司⁵⁾、
中村 紳一朗¹⁾、岡本 宗裕³⁾、宮部 貴子³⁾、揚山 直英⁶⁾

¹⁾麻布大学実験動物学研究室、²⁾予防衛生協会、³⁾京都大学ヒト行動進化研究センター、

⁴⁾日本大学獣医生理学研究室、⁵⁾自然科学研究機構生命創成探究センター、

⁶⁾医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医科学研究センター

P-141 カニクイザルにおける糖尿病性心筋症のサイトカインおよび酸化ストレス解析

○米田 伊吹^{1,2)}、中山 駿矢^{1,2)}、山海 直²⁾、伊藤-藤城 康世¹⁾、保富 康宏²⁾、鯉江 洋¹⁾、揚山 直英²⁾

¹⁾ 日本大学獣医生理学研究室、²⁾ 霊長類医学研究センター

P-142 カニクイザルで4世代にわたって認められた拡張型心筋症家系における心疾患モデルとしての可能性

○北原 香子¹⁾、中山 駿矢^{1,2)}、米田 伊吹^{1,2)}、浅岡 さくら¹⁾、澤田 悠斗²⁾、山海 直²⁾、伊藤-藤代 康代²⁾、保富 康宏²⁾、鯉江 洋¹⁾、揚山 直英²⁾

¹⁾ 日本大学、²⁾ 霊長類医学研究センター

P-143 Presenilin1 遺伝子変異アルツハイマーモデルマーマモセットの血液性状所見

○向笠 圭亮、加藤 法子、山口 梓、佐藤 賢哉、汲田 和歌子、佐々木 えりか

公益財団法人実中研

P-144 Recapitulation of human nephropathy features in a type 1 diabetic common marmoset model

Dong-Won Seol¹⁾, Eunhong Hong¹⁾, Jee-Hyun Choi¹⁾, Hye Seung Jung²⁾, Jooyeop Lee²⁾,

○Kyoung-Sun Lee¹⁾

¹⁾ Non-Clinical Evaluation Center, Osong Medical Foundation Innovation,

²⁾ Division of Endocrinology and Metabolism, Department of Internal Medicine, Seoul National University Hospital

P-145 ゼブラフィッシュ試験評価系：非生物的(食塩水)刺激による未病モデルにおける分子イベントの検討

中村 伸^{1,2)}、河合 和弘¹⁾、井戸田 真紀子¹⁾、松浦 正樹¹⁾、伊藤 薫里¹⁾、中村 聡¹⁾、○光永 総子^{1,2)}

¹⁾ 株式会社アイテックラボ、²⁾ NPO法人プライメイト・アゴラバイオメディカル研究所

「バイオリソース」

P-146 第5期NBRPにおけるマウスリソース拡充と利用者による成果創出

○吉木 淳¹⁾、中田 初美¹⁾、水野 沙織¹⁾、川本 祥子²⁾、仲柴 俊昭¹⁾、佐藤 佳祐¹⁾、門田 雅世¹⁾、綾部 信哉¹⁾

¹⁾ (国研) 理化学研究所バイオリソース研究センター、²⁾ 国立遺伝学研究所NBRP情報センター

P-147 インテグラーゼを用いた遺伝子改変マウス作製におけるノックイン効率と遺伝品質管理

○綾部 信哉¹⁾、中島 謙一²⁾、岩間 瑞穂¹⁾、三輪 佳宏²⁾、吉木 淳¹⁾

¹⁾ 理化学研究所バイオリソース研究センター実験動物開発室、

²⁾ 理化学研究所バイオリソース研究センター遺伝子材料開発室

P-148 ラット研究基盤の強化と持続的発展を支えるAdAMSおよびNBRP-ラット

○林 順仁¹⁾、石田 紗恵子¹⁾、飯田 龍哉¹⁾、服部 晃佑¹⁾、竹鶴 裕亮¹⁾、吉見 一人^{1,2)}、真下 知士^{1,2)}

¹⁾ 東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野、

²⁾ 東京大学医科学研究所システム疾患モデル研究センターゲノム編集研究分野

P-149 ラット研究を支える共通基盤：NBRP ラットの整備と活用

○井橋 俊哉、森田 健斗、和島 沙季、橋本 優美、大野 幹雄、槌原 奈穂、中根 良文、長尾 朋美、Birger Voigt、浅野 雅秀、成瀬 智恵

京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設

P-150 ヒト *SIRPA* 遺伝子のノックインによる免疫ヒト化ラットの開発

○飯田 龍哉^{1,2)}、石田 紗恵子¹⁾、余語 孝夫⁴⁾、吉見 一人^{1,3)}、山崎 聡⁴⁾、真下 知士^{1,3)}

¹⁾東大医科研実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野、²⁾東大新領域メディカル情報生命専攻、
³⁾東大医科研システム疾患モデル研究センターゲノム編集研究分野、
⁴⁾東大医科研システム疾患モデル研究センター細胞制御研究分野

P-151 ラット前核期受精卵のガラス化保存法および体外受精法の最適化

○中尾 聡宏¹⁾、三小田 伸之^{2,3)}、山鹿 優真¹⁾、中川 佳子¹⁾、竹尾 透¹⁾、中潟 直己³⁾

¹⁾熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、²⁾九動株式会社、
³⁾熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 生殖工学共同研究分野

「その他の分類」

P-152 *rasH2* マウスにおける離乳時体重差が体重および臓器重量に及ぼす影響の解析

○伊藤 美穂¹⁾、野川 滯¹⁾、十河 和雅¹⁾、水澤 卓馬²⁾、保田 昌彦²⁾、西脇 恵¹⁾

¹⁾日本クレア株式会社、²⁾公益財団法人実中研

P-153 *rasH2* マウスにおける離乳時体重差が体重変動に及ぼす影響の解析

○野川 滯¹⁾、十河 和雅¹⁾、伊藤 美穂¹⁾、水澤 卓馬²⁾、保田 昌彦²⁾、西脇 恵¹⁾

¹⁾日本クレア株式会社、²⁾公益財団法人実中研

P-154 多種動物のノックアウト変異体作製における CRISPR デザインを自動化する Web ツール KOzoo の開発

○滝 大斗¹⁾、久野 朗広²⁾、鈴木 颯²⁾、水野 聖哉²⁾

¹⁾筑波大学人間総合科学研究群ヒューマンバイオロジー学位プログラム、
²⁾筑波大学医学医療系生命科学動物資源センター

P-155 AltEx-BE : 多様な実験動物における塩基編集を用いたスプライシング摂動のため sgRNA 設計ツール

○松本 生成¹⁾、久野 朗広^{2,3)}、水野 聖哉⁴⁾

¹⁾筑波大学大学院ヒューマンバイオロジー学位プログラム実験動物学研究室、
²⁾筑波大学解剖学発生研究室、³⁾筑波大学高等研究院、⁴⁾筑波大学生命科学動物資源センター

P-156 Transcriptomic analysis of the deodorizing effects of *Ecklonia cava* extract in TMA-induced mouse liver

○Ji Eun Kim, Hee Jin Song, Ayun Seol, Su Jeong Lim, Ye Ryeong Kim, Ye Eun Ryu,
Dae Youn Hwang

Department of Biomaterials Science, Pusan National University

P-157 Macrophage functional changes induced by insoluble particles

○So-Young An

Lab of Toxicology, Department of Health Sciences, The Graduate School of Dong-A University

P-158 Comparative pulmonary responses to Zr-based MOFs and Co-based ZIF-67 in mice

○Songyeon Kim, Wan-Seob Cho

Lab of Toxicology, Department of Health Sciences, Dong-A University

P-159 深層学習を用いたマウス横顔画像の高精度自動抽出システムの開発とその応用

○小澤 直光¹⁾、酒井 悠輔²⁾、坂井 勇介¹⁾、越本 知大²⁾、塩澤 誠司¹⁾

¹⁾久留米大学医学部疾患モデル研究センター、

²⁾宮崎大学フロンティア科学総合研究センター生物資源分野

P-160 MAFB in macrophages drives fasting-induced beiging of inguinal white adipose tissue: bulk RNA-seq update

○Eugenia Elikem Abena Kumaga¹⁾, Zeynab Javanfekr Shahri¹⁾, Natalia Gogoleva¹⁾, Mayuko Oki¹⁾, Hibiki Ueno¹⁾, Michito Hamada²⁾, Satoru Takahashi¹⁾

¹⁾Department of Anatomy and Embryology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba,

²⁾Medical Science Center, Ibaraki Prefectural University of Health Sciences

P-161 ウサギを用いた新規骨補填材の骨親和性及び特性の評価

○水島 友子¹⁾、関 あずさ¹⁾、鈴木 博紀¹⁾、橋本 亜壽加¹⁾、目黒 嵩²⁾、福山 茂雄²⁾

¹⁾一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構、²⁾株式会社福山医科

P-162 Kbl:JWおよびKbl:NZWウサギにおける2歳齢までの眼圧および視神経乳頭の長期背景データ

○関川 滉太、奥村 文彬、三澤 英徳、上島 和己、高井 直史、原田 顕範、三上 博史

北山ラベス株式会社

P-163 再生医療に向けた新規滅菌技術の多能性幹細胞を用いた評価

○篠原 晴香¹⁾、糠信 美里¹⁾、米田 直央¹⁾、望月 美沙¹⁾、本間 貴也¹⁾、樋口 裕一郎¹⁾、保田 昌彦¹⁾、佐藤 賢哉¹⁾、中村 八寿雄²⁾、靄島 由二²⁾、佐々木 えりか¹⁾

¹⁾公益財団法人実中研、²⁾三浦工業株式会社メディカル横浜ラボ

P-164 除菌剤の空間噴霧の除菌性能評価

○漆谷 雅弘¹⁾、三田村 彰大²⁾、菅原 智美²⁾

¹⁾株式会社いけうち、²⁾アース製薬株式会社

ランチョンセミナー LS-01(日本エスエルシー株式会社)

5月27日(水) 12:50-13:50 第2会場:会議棟A 1F 会議場A1

座長:吉見一人(京都大学大学院医学研究科 附属動物実験施設)

演題1: BALB/c 系統の高度免疫不全マウスの生命科学研究への活用

演者1: 岡田 誠治(熊本大学大学院医学教育部 造血・腫瘍制御学分野 生命資源研究・支援センター
アイソトープ総合施設長)

演題2: BRJ マウスにおける腫瘍移植モデルの評価と実際

演者2: 飯島 健太(浜松医科大学光医学総合研究所 医用動物資源支援部)

ランチョンセミナー LS-02(アース製薬株式会社)

5月27日(水) 12:50-13:50 第3会場:会議棟B 2F 会議場B1

テーマ: 次世代の実験動物施設管理 MA-T[®] 技術の可能性と活用例

演題1: MA-T[®] とは何か: 技術概要と応用可能性

演者1: 井上 豪(大阪大学大学院薬学研究科 創成薬学専攻)

演題2: OIST 実験動物施設紹介と MA-T[®] 使用例

演者2: 宮本 智美(沖縄科学技術大学院大学 実験動物セクション)

ランチョンセミナー LS-03(ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社)

5月27日(水) 12:50-13:50 第4会場:会議棟B 1F 会議場B2

座長:大沼 健太(ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 品質保証部)

演題: 免疫不全マウス飼育における微生物学的リスク低減の考え方

— JAX Japan の飼育管理と微生物モニタリング —

演者1: 隅田 歩(ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 プロダクション管理部)

演者2: 佐古典久(ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 モニタリングセンター)

ランチョンセミナー LS-04(日本クレア株式会社)

5月28日(木) 12:20-13:20 第2会場:会議棟A 1F 会議場A1

座長:西脇 恵(日本クレア株式会社)

演題: ヒト細胞移植モデルを支える免疫不全マウスプラットフォーム

— NOG および次世代 NOG モデルの特徴と研究応用

演者: 花澤 麻美(公益財団法人実中研 トランスレーショナルリサーチ部門 事業開発部 新規事業
開発室)

ランチョンセミナー LS-05(株式会社ケー・エー・シー)

5月28日(木) 12:20-13:20 第3会場:会議棟B 2F 会議場B1

座長:小山 公成(株式会社ケー・エー・シー)

島田 俊雄(株式会社ケー・エー・シー)

演題1: 株式会社 T&K ゲノブリードの紹介

演者1: 島田俊雄(株式会社ケー・エー・シー)

演題2: 遺伝子改変動物作製をトータルサポート: デザイン設計(遺伝子)からモデル作製まで

演者2: 齋藤 知子、齋藤 恭祐(株式会社特殊免疫研究所)

演題3: 株式会社ケー・エー・シーの東京支社における研修所の開設について

演者3: 小山 公成(株式会社ケー・エー・シー)

ランチョンセミナー LS-06 (Avidity Science 株式会社)

5月28日(木) 12:20 - 13:20 第4会場：会議棟 B 1F 会議場 B2

座長：武田 慎吾 (Avidity Science 株式会社)

演題：マウスにも研究者にもやさしいホームケージモニタリング

— 変化を見逃さないシステム Envision —

演者：田淵 紗和子 (ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社)

ランチョンセミナー LS-07 (大会企画) 後援：株式会社エーテック

5月29日(金) 12:50 - 13:50 第2会場：会議棟 A 1F 会議場 A1

座長：三好 一郎 (東北大学)

演題：実験動物を取り巻く環境

— 再現性のある動物実験の実施に向けて —

演者：鈴木 真 (沖縄科学技術大学院大学)